

令和3年度

事業報告及び決算書

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人いばらき文化振興財団

目 次

| | |
|----------|---------|
| I 事業報告 | 1 ~ 21 |
| II 決算報告書 | 23 ~ 35 |

I 事業報告

| | |
|-----------------------------------|---------|
| 総括的事項 | 1 |
| 1 公益目的事業1 [公1] (文化振興事業) | 1 ~ 7 |
| 2 収益事業1 [収1] (県民文化センター自主事業) | 7 ~ 8 |
| 3 公益目的事業2 [公2] (水族館事業) | 8 ~ 19 |
| 4 収益事業2 [収2] (水族館売店事業) | 19 ~ 20 |
| 5 法人運営事業 | 20 ~ 21 |

I 令和3年度事業報告

公益財団法人いばらき文化振興財団の設立趣意に則り、県民のニーズを踏まえた魅力ある文化振興事業を行い、個性豊かな地域文化の創造を図るため次の事業を行った。

総括的事項

第5期中期経営計画（2021年度～2023年度）に沿った運営に努めた。

- (1) 文化活動団体等への助成については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響で多くの事業が中止を余儀なくされたことから、追加募集による支援拡充と更なる文化活動の活性化を図るための助成制度の改定などを行った。

また、新進演奏家の積極的な支援については、新たな生活様式を踏まえて、動画と実開催によるハイブリッド型の事業を展開し、コロナ禍において停滞しかけている本県の文化芸術の振興に努めた。

- (2) 文化芸術に接する機会の提供については、全国ツアーの公演中止の影響により、当初事業計画に対し5事業が減となったが、文化庁のコロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業（ARTS for the future!）を活用し、本格的なオーケストラ公演を実施するとともに親子で鑑賞できる公演や県民が参加できる公演など、多種多様なジャンルの舞台公演を感染症防止対策の徹底を図り安全・安心な運営で提供した。

- (3) 茨城県立県民文化センターの運営については、新型コロナウイルス感染症拡大による令和3年8月6日から9月30日までの休館及び令和4年1月27日から3月21日までのまん延防止等重点措置の影響を受けて、催事の中止や延期が相次ぎ、利用者数は、前年度比約1.8倍と増加したが237,272人とどまった。

また、県の指針等に基づき新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るとともに、電話、訪問等による営業活動やコンベンション誘致促進事業等を展開し、施設の利用促進に努めた。

- (4) アクアワールド茨城県大洗水族館については、水族館が本来持っている「展示」「普及」「研究」の3つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めた。

令和3年度は、開館20周年にあたることから令和2年度のリニューアル効果と併せて大規模な記念事業を行うことで誘客を試みたが、同様に新型コロナウイルス感染症拡大による休館やまん延防止等重点措置の影響を受け、入場者数は前年度比約1.2倍と増加したが798,883人となった。

1 公益目的事業1（文化振興事業）

- (1) 文化振興推進事業

ア 文化芸術活動への助成、情報の発信

コロナ禍において、創意工夫し自主的で個性的な活動を行っている文化活動団体等に対し、追加募集や活動内容等の情報発信を行い支援の拡充を図った。

また、助成審査委員会において更なる文化活動団体等の発展やコロナ禍での活動支援を促進するため、助成事業の枠組みを大幅に見直し新たに制度を再構築した。

| 区 分 | 当初募集 | | 追加募集 | | 合 計 | |
|------------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|
| | 計 画 | 実 績 | 計 画 | 実 績 | 計 画 | 実 績 |
| 助成交付件数 (件) | 48 | 36 | 15 | 7 | 63 | 43 |
| 助成額 (千円) | 16,009 | 10,950 | 3,991 | 2,111 | 20,000 | 13,061 |

※令和3年度追加募集（募集期間：令和3年7月1日～8月20日）

イ 参加創造事業（9事業）

新進演奏家の発掘・支援・育成を目的とした「ステップアップ事業」や、県内の地域文化資源の継承・活用を目的とした「地域文化活用事業」を、感染症防止対策を適切に講じた安全・安心を確保した運営で実施するとともに、新しい生活様式を踏まえ動画を活用した情報発信で、停滞しかけている本県の文化芸術の振興に努めた。

なお、ソーシャルディスタンスを確保した座席数でも、適切な価格設定で提供するため、各種助成金や企業協賛金を積極的に獲得し、鑑賞しやすい環境を整備した（3,565千円）。

また、事業の見直しを行い、県民とともに創りあげる、新たな文化プログラムの開発と活用を目的とした「県民企画公募型事業」を創出し、広く県民からアイデアを公募し、次年度発表するための企画制作の準備を行った。

（ ）は計画数値

| 実施日 | 公演名 | 会 場 | 回 数 | 入場者数 |
|-----------|--|----------|----------|-------------------|
| 7月17日(土) | 新進演奏家ステップアップ事業（動画配信） 「いばらき応援コンサート」 | 小ホール | 1 | 108人 |
| 7月31日(土) | 新進演奏家ステップアップ事業（動画配信） 「いばらき応援コンサート」 | 小ホール | 1 | 149人 |
| 9月26日(日) | 新進演奏家ステップアップ事業（ライブ配信） 「第47回茨城県新人演奏会」 | 大ホール | 1 | 無観客 |
| 10月24日(日) | 担い手育成事業（動画配信） 「親子で楽しむ0歳からのコンサート」 | 小ホール | 1 | 280人 |
| 11月7日(日) | 新進演奏家ステップアップ事業 「新人演奏会受賞者コンサート」 | 常陽藝文センター | 1 | 150人 |
| 11月20日(土) | 新進演奏家ステップアップ事業（動画配信） 「オペラレクチャーコンサート」 | 小ホール | 1 | 214人 |
| 2月20日(日) | 新進演奏家ステップアップ事業（動画配信） 「新人演奏会歴代受賞者コンサート」 | 小ホール | 1 | 248人 |
| 3月12日(土) | 担い手育成事業（地域文化活用）（動画配信） 「いばらきの民話（ミュージカル）」 | 小ホール | 1 | 188人 |
| 10月 | 企画公募型事業（応募14団体・採択1団体） | - | - | - |
| 計9事業（9事業） | | | 8 (8) | 1,337人 (2,000) |

※第47回茨城県新人演奏会：ライブ配信視聴者数112人

ウ Web を活用した文化振興の拡充

県内の文化芸術等の発信拠点となる動画を活用した Web チャンネルを新たに開設し、文化振興の拡充を図るとともに、閲覧数アップに向けた次年度行動計画の諸準備を行った。
(年度閲覧数：20,932PV)

エ 新進演奏家への支援強化

主催公演事業での起用（7 事業 39 人）をはじめ、県近代美術館や県天心記念五浦美術館への演奏家派遣（2 件 5 名）や県内学校等での出前講座に講師派遣（54 件 191 名）を実施し、コロナ禍で減少している発表の機会を提供する等新進演奏家等に対する支援を行った。
また、新たに開設した Web チャンネル上で、新進演奏家を紹介する PR 動画を掲載し、更なる支援に努めた。

オ 受託事業（2 事業）

各部門の専門家を派遣し、様々な文化芸術を鑑賞・体験する文化芸術体験出前講座を児童・生徒を対象に提供し、興味関心を促すとともに、子どもたちの豊かな感性や創造力などの育成に努めた。

また、コロナ禍で学校等への外部関係者の出入り規制がある中で、映像配信を活用した講座を実施し、新しい生活様式を踏まえた文化の振興につなげることができた。

さらに、広く県民を対象に質の高い舞台芸術に接する機会を提供するため、室内楽オーケストラ公演を県内文化施設で実施するとともに、感染症防止対策ガイドラインを作成し、安全安心を確保した事業運営を行った。

() は計画数値

| 実施日 | 項目 | 会場 | 回数 | 参加者数 |
|--------------|--|--------------------|-------------|--------------------|
| 12月11日(土) | 室内楽演奏会 | 鹿嶋勤労文化会館 | 1 | 302人 |
| 1月16日(日) | | 龍ヶ崎市文化会館 | 1 | 354人 |
| 2月19日(土) | | 取手市立市民会館 | 1 | 252人 |
| 5月～3月 | ・音楽：54校 ・美術（絵画・書・陶芸）：15校 ・伝統文化（華道・茶道）：12校 ・希望枠（能楽・食文化）：9校 | 県内小中高等学校 特別支援学校 | 95 | 9,124人 |
| 計 2 事業（2 事業） | | | 98 (103) | 10,032人 (9,000) |

(2) 県民文化センター指定管理事業

ア 施設の利用状況

令和3年度も、年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に、令和3年8月6日から9月30日までの休館及び令和4年1月27日から3月21日までのまん延防止等重点措置により、大ホールや小ホールを中心に多くの催事が延期または中止となった。

そのため、年間を通して、利用実績のある団体等に対し、関係団体と連携しながら、施設の空き情報等の提供や電話・訪問・メール等による営業活動を展開し、利用促進に努めた。これらの取組み等により、令和3年度の文化センター利用者数は237,272人、施設の利用料金は69,650千円となり、当初計画は下回ったが、両者とも昨年度対比約1.8倍の増加となった。

なお、新型コロナウイルス感染症を理由とした催事キャンセルに対する利用料金の還付は、年間で179団体、還付料金6,025,213円にのぼり施設利用に大きな影響を受けた。

施設利用実績

| 区分 | 利用者数(人) | 利用日数(日) | 利用料金(円) | 利用率(%) |
|---------|-----------|---------|--------------|--------|
| 大ホール | 76,335 | 161 | 38,183,225 | 63.6 |
| (R3計画) | (201,000) | (210) | (52,883,000) | (77.3) |
| (R2実績) | (28,571) | (102) | (19,024,385) | (41.0) |
| 小ホール | 25,129 | 159 | 8,114,845 | 53.7 |
| (R3計画) | (51,200) | (219) | (9,401,000) | (65.6) |
| (R2実績) | (11,318) | (95) | (4,893,835) | (35.2) |
| 本館集会室 | 54,297 | 285 | 4,804,212 | 89.1 |
| (R3計画) | (78,500) | (302) | (5,405,000) | (88.0) |
| (R2実績) | (36,129) | (226) | (3,182,711) | (77.4) |
| 分館集会室 | 20,230 | 281 | 9,714,291 | 92.1 |
| (R3計画) | (35,000) | (297) | (9,110,000) | (86.1) |
| (R2実績) | (17,081) | (261) | (8,197,602) | (84.7) |
| 和室 | 679 | 77 | 626,988 | 24.6 |
| (R3計画) | (2,500) | (150) | (1,148,000) | (44.4) |
| (R2実績) | (429) | (49) | (370,131) | (17.0) |
| 一般展示室 | 30,668 | 202 | 4,883,000 | 62.9 |
| (R3計画) | (59,300) | (230) | (5,468,000) | (67.2) |
| (R2実績) | (17,800) | (95) | (2,182,990) | (32.0) |
| 県民ギャラリー | 29,093 | 168 | 2,947,840 | 53.2 |
| (R3計画) | (51,000) | (178) | (3,156,000) | (51.3) |
| (R2実績) | (17,795) | (96) | (1,743,360) | (32.2) |
| 練習室 | 841 | 109 | 375,530 | 34.9 |
| (R3計画) | (1,500) | (120) | (359,000) | (34.9) |
| (R2実績) | (572) | (80) | (285,431) | (26.7) |
| 計 | 237,272 | 1,442 | 69,649,931 | 59.2 |
| (R3計画) | (480,000) | (1,706) | (86,930,000) | (64.4) |
| (R2実績) | (129,695) | (1,004) | (39,880,445) | (43.3) |

※利用率は、利用可能日に対する利用日数の割合。

イ 鑑賞事業(14事業)

県民ニーズに的確に応えるため、公演アンケート等の要望を参考に公演選定したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、計画対比で5事業減の14事業を実施した。

事業内容は、質の高い舞台公演を提供する鑑賞公演をはじめ、子育て世代の親子が鑑賞できる公演やワークショップの体験を通して本公演の舞台に出演する参加型の演劇公演など、多種多様なジャンルの舞台公演を感染症防止対策の徹底を図り実施した。

また、コロナ禍で収支の確保が難しい大型舞台公演「新日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会」を、文化庁のコロナ禍を乗り越えるための文化芸術活動の充実支援事業(ARTS for the future!)を活用して開催し、県民に質の高い文化芸術に接する機会を提供した。

さらに、昨年度導入したチケットが24時間購入可能なWebチケット販売システムの継続により、利用者の利便性の向上と業務効率の向上に努めた。

今後も、県等のガイドラインに沿って感染症防止対策の徹底を図るとともに、県民のニー

ズを踏まえながら様々な年代の方により多く鑑賞していただける質の高い公演をバランスよく開催していく。

()は計画数値

| ジャンル | 実施日 | 公演名 | 会場 | 回数 | 入場者数 |
|-----------------|-----------|------------------------|------|------------|---------------------|
| 音楽 | 5月16日(日) | フジコ・ヘミング ピアノリサイタル | 大ホール | 1 | 1,491人 |
| 音楽 | 5月19日(土) | 渡辺美里 Tour2021 | 大ホール | 1 | 400人 |
| 演劇 | 6月27日(日) | しまじろう英語で遊ぼう | 大ホール | 3 | 1,177人 |
| 演芸 | 7月28日(水) | 爆笑寄席(三遊亭円楽、林家たけ平 他) | 大ホール | 1 | 484人 |
| その他 | 8月1日(日) | 恐竜動物園 | 大ホール | 2 | 1,878人 |
| 演劇 | 8月14日(土) | それゆけ! アンパンマンミュージカル | 大ホール | 3 | 2,997人 |
| 舞踊 | 8月29日(日) | 華麗なるクラシックバレエハイライト | 大ホール | 1 | 257人 |
| 古典芸能 | 10月10日(日) | 中村勘九郎・七之助 錦秋特別公演 | 大ホール | 2 | 904人 |
| 音楽 | 11月12日(金) | イルカコンサート | 大ホール | 1 | 635人 |
| 音楽 | 11月28日(日) | 和楽器バンドコンサートツアー | 大ホール | 1 | 1,440人 |
| 演劇 | 12月5日(日) | 演劇「注文の多い料理店」(動画配信) | 小ホール | 2 | 330人 |
| 音楽 | 12月13日(月) | 新日本フィルハーモニー交響楽団特別演奏会 | 大ホール | 1 | 621人 |
| 舞踊 | 1月29日(土) | 情熱のタンゴ・愛のシャンソン | 小ホール | 1 | 188人 |
| 演芸 | 3月13日(日) | 笑いイチ(サンドウィッチマン、カミナリ 他) | 大ホール | 2 | 2,000人 |
| 計 14 事業 (19 事業) | | | | 22 (25) | 14,802人 (18,700) |

ウ 施設の利用促進及びサービスの向上

(ア) 新規利用者(団体等)及びリピーターへの利用促進

ホームページで大・小ホール、展示室、県民ギャラリー等の最新空き情報やコンサート等の催事開催情報を提供するとともに、近隣市町村の文化施設及び関係団体等約500団体に情報誌「催し物ご案内」(11,000部発行)を毎月発送し、来館者の利用促進に努めた。

また、利用実績のある団体や催事情報の収集をした主催団体に対して、毎月、電話・訪問・メール等により営業活動(令和3年度計532件)を行い、82件の予約を確保した。

さらに、例年、同月に利用している団体で予約が入っていない場合は、開催意向を確認して予約漏れの無いよう努めるとともに、当館の休館に伴い催事等の中止を検討している団体に対し、今後の空き日を紹介して延期により開催できるよう調整した(大ホール6件、小ホール6件 計12件)。

コンベンション機能周知では、令和4年1月27日いばらきMICE誘致・推進事業「MICEを活用した観光戦略セミナー」を、新型コロナウイルスの影響から無観客・LIVE配信で開催し(LIVE最大視聴者数:112人)、当センターにおけるライブ配信や同時通訳機能を利用者に理解してもらう機会を提供できた。

MICE を活用した観光戦略セミナー(令和 4 年 1 月 27 日開催、大ホール)
 (内容)・基調講演(茨城県営業戦略部長)や特別公演(シンガポール在住、ビジット
 ジャパン大使、同時通訳)、パネルディスカッション(ポストコロナのい
 ばらき観光戦略)をライブ配信
 (LIVE 最大視聴者数) 112 人

(イ) 各団体との連携による利用促進

茨城県及び水戸観光コンベンション協会等、関係各団体との連携による全国規模や地域
 ブロック規模の大会等の誘致や情報交換を引き続き行い、第 64 回日本放射線影響学会、
 第一生命水戸支社周年記念式典(R3)、全医連(R4)、全国高等学校書道部(R5)などコ
 ンベンション等 9 事業を誘致した。

また、茨城文化団体連合や茨城県公立文化施設協議会及び全国公立文化施設協会との連
 携による加盟施設館との情報共有と施設の利用促進に努めた。

(ウ) サービスの向上

年間を通して、来館者と主催者双方を対象として満足度調査(アンケート調査)を実施
 し、来館者から 15 件、主催者から 303 件の回答が寄せられた。そのうち、要望のあった
 39 件(レストランの再開等、重複要望あり)のうち、トイレの洋式化等 25 件については
 対応を終えたが、引き続き対応を継続している。

また、チケット販売については、窓口での販売に加え、昨年度導入されたインターネット
 によりチケット購入が出来る Web チケット販売システムの利用促進に努めた。(Web 会
 員登録者: 700 人(令和 4 年 3 月末現在)、前年比 344 人増)

(エ) 県民文化センター友の会の運営

会員向けのサービス提供は、財団主催や貸館のコンサートなどについて、チケット割引
 29 件、先行予約販売 17 件計 46 件を実施するとともに、新たに県内演奏家等によるコン
 サートを開催するなどして、コロナ禍においても、多くの会員に対するサービスの提供の
 継続と会員の確保に努めた。

| | |
|------|--|
| 会員数 | 1,493 人(令和 4 年 3 月 31 日現在)(昨年度 1,779 人) |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・チケット割引及び会員先行販売の実施(46 件) ・催し物案内の配布 ・NewYear Special Concert の主催開催 開催日: 令和 4 年 1 月 22 日(土) (第一部) イ・ソリ・クインテット(弦楽五重奏) (第二部) Duo OZAWA(ピアノ二重奏) |

エ ピアノを活用した参加事業

「スタインウェイを体感しよう」の開催

事前募集した参加者に、反響板及びコンサート照明を使用したコンサートスタイルのス
 テージでのスタインウェイの体感プログラムを提供した。希望者には、さらなる演奏技術の
 向上を図るための記録動画及び若手演奏家による講評を追加提供した。またピアノを使用す
 れば、他の楽器を持ち込んだアンサンブルも可能とし、利用者の多様な要望に応えた。

(実施回数: 10 回 応募総数: 94 組 参加人数 53 名 録画 30 名 講評 19 名)

オ 安全・安心で快適な施設づくり

(ア) 施設整備

県民文化センターは開館から 55 年が経過し施設の長寿命化を図るため、県と協議のうえ

計画的な修繕を実施し安全確保に努めた。また、緊急性の高い修繕箇所は優先し迅速に修繕を実施し、指定管理事業部門修繕工事及び県直轄工事を実施した。

また、新型コロナウイルス感染症対策については、ガイドラインを遵守し各施設内での感染防止対策を行った。

<指定管理事業部門修繕工事>

本館事務所来客用駐車場舗装工事や緊急時の安全確保の観点から本館屋内消火栓修繕、スプリンクラー制御盤改修工事など 16 件の修繕工事を施工し、安全で安心して利用していただける施設づくりに努めた。

<県直轄工事>

大ホール天井改修工事、煙突改修工事、大ホールロビー天井照明 LED 化改修工事など計 10 件の改修工事を施工し、安全・安心な施設づくりに努めた。

特に、コロナ禍においてさらに安心して来館・ご利用していただけるよう、大小ホール・集会室など館内全館に、県有施設では初めての抗菌・抗ウイルス化コーティングを施工し、新型コロナウイルス感染防止対策の更なる強化を図った。

(イ) 危機管理対策

不特定多数の利用者が来館されることから、年 2 回の避難訓練（火災訓練・大規模地震避難訓練）を実施し安全確保に努めた。

また、緊急時に迅速な対応ができるよう、平常時より危機管理への備えを万全にしておくため、危機管理対応マニュアルを全職員及び業務委託先等に配布し、防災意識向上に留意して利用者の安全確保に努めた。

2 収益事業 1（県民文化センター自主事業）

(1) 売店事業

売店利用状況は、新型コロナウイルス感染拡大による各施設の催事中止や令和 3 年 8 月から 9 月に文化センターが休館したこと等により、利用者が伸びず、大きな影響を受けた。

このような状況下にはあったが、昨年度に引き続き、施設の利用状況に応じた営業日や営業時間とするなど効率的な営業に努めるとともに、集会室に営業日の周知等の取組みを行った結果、計画は下回ったが、前年度対比で利用者及び売上額ともに 1.3 倍の増となった。

| 区 分 | R3実績 (A) | R3計画 (B) | R2実績 | 増 減 (A)-(B) |
|------------|-------------|-------------|-----------|----------------|
| 売店利用者数 (人) | 4,861 | 16,800 | 3,704 | △11,939 |
| 売店売上額 (円) | 2,303,310 | 3,953,000 | 1,811,874 | △1,649,690 |

(2) 駐車場事業

茨城県から管理許可を受けた千波公園・ザ・ヒロサワ・シティ会館前駐車場を、利用者が安全かつ円滑に利用できるよう管理運営を行った。なお、コンサート等、催事の際には、適宜、警備員を配置し安全対策を行うとともに、出口渋滞緩和対策として、駐車場内での案内板の複数個所の設置や原則料金所側から出庫してもらうなどの案内をし、以前より出庫がスムーズとなり大幅な時間短縮が図られた。

駐車場の利用状況も、新型コロナ拡大による各施設の催事中止や文化センターの休館等の影響を受け、計画は下回ったが、前年度対比で利用台数 1.4 倍、駐車場収入 1.7 倍の増となった。

| 区 分 | R3実績 (A) | R3計画 (B) | R2実績 | 増 減 (A)-(B) |
|----------------------------|--------------|--------------|-------------|----------------|
| 駐車場収入 | 13,398,010 円 | 21,436,000 円 | 7,737,110 円 | △8,037,990 |
| 利用台数 | 80,745 台 | 113,000 台 | 55,791 台 | △32,255 |
| 料 金 徴 収 状 況 | 全額徴収 | 21,128 台 | 34,387 台 | △13,259 |
| | 1/4 免除 | 13,087 台 | 19,747 台 | △6,660 |
| | 1/2 免除 | 2,028 台 | 4,151 台 | △2,123 |
| | 全額免除 | 33,639 台 | 36,812 台 | △3,173 |
| | 還 付 | 10,863 台 | 17,903 台 | △7,040 |

3 公益目的事業 2（水族館事業）

基本テーマである「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」に沿って、地域の自然と世界の水生生物の生態環境を通し、生物の多様性や自然環境・地球環境について、楽しみながら学ぶという教育と娯楽性を兼ね備えた施設として運営を行った。

さらに令和2年12月には開館以来となる大規模リニューアルが行われ、令和3年度は、開館20周年にあたることから、リニューアル効果と併せて大規模な記念事業を行い、「さあ、新世界！NEW WORLD NEW AQUAWORLD」を基本コンセプトに運営を行った。

しかしながら1年の内で最も来館者が多い繁忙期である8月6日（金）から9月30日（水）まで休館となり、感染対策を実施しながらの営業が続いた。

その中で積極的な情報発信に努めたものの総入場者数は、目標の1,011,550人を下回る798,883人となった。それでも下半期には様々な事業を展開し、下半期の入場者は目標の431,400人に対し、482,951人の11.9%増となった。

（1）入場者実績

（単位：人）

| 区 分 | R3実績 (A) | R3計画 (B) | 増 減 (A)-(B) | R2実績 (C) |
|----------|-------------|-------------|----------------|-------------|
| 一 般 | 598,120 | 835,990 | △ 190,579 | 438,727 |
| 団 体 等 | 47,291 | | | 93,026 |
| 年間パスポート | 20,424 | 12,160 | 8,264 | 10,477 |
| 年パス2回目以降 | 53,771 | 51,700 | 2,071 | 39,712 |
| 有料入場者計 | 719,606 | 899,850 | △180,244 | 581,942 |
| 無料入場者 | 79,277 | 111,700 | △ 32,423 | 63,110 |
| 総入場者 | 798,883 | 1,011,550 | △ 212,667 | 645,052 |

※計画及び前年比較

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館が8月6日～9月30日と誘客が期待できる期間であっただけに、大きな痛手となった。しかし、10月以降の外出緩和ムードに「いばらきあんしん割」の開始等も重なって、下半期は開館以来2位（1位は開館初年度）の来館者数を記録した。また、年間パスポートの売り上げも発売以来最高であり、近場で安心して楽しみたいという気分と年間パスポートという商品の特徴がうまくマッチした結果だと思われる。苦戦したのは主に団体であり、今後も感染症の状況を見つつ、効果的な営業活動が必要だと思われる。

(2) 飼育展示事業・調査研究事業

ア 魚類展示

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、移動の制限、生物の流通量の減少により生物収集の困難な状況が続いた。

新たな試みとして、出会いの海の大水槽においてマイワシの群れを餌で誘導し、ダイナミックな遊泳を見せるとともに光と音楽で演出するショー「IWASHI LIFE」を開始するため、15,000尾のマイワシを常時展示した。「IWASHI LIFE」は6月より1日3回実施し、季節イベントに合わせ3回の特別バージョンを行った。

開館以来20年間、繁殖研究に取り組んできたシロワニは6月に出産された国内初となる幼魚を予備水槽での馴致飼育の後、10月より展示を開始した。シロワニの水槽内での繁殖は世界で5園館目となった。

(ア) 展示生物収集

各水槽の展示の充実を図るため、会瀬定置網や地元漁業者からの購入・寄贈、自家採集、他園館との生物交換等を実施した。(収集計164回、収集生物点数248種39,506点)

(展示生物収集実績)

| 収集方法 | 回数 | 種類数 | 点数 | 主な生物 |
|--|----|-----|--------|---------------------------------------|
| 会瀬定置網から購入 | 17 | 28 | 361 | シロシュモクザメ、アオリイカ、シイラ、キアンコウ、イトヒキアジ 他 |
| 活魚業者、漁業者から購入 (会瀬定置網を除く) | 90 | 106 | 24,464 | マイワシ、シンカイウリクラゲ、オオホモラ、サワガニ、デバスズメダイ 他 |
| 漁業者等からの寄贈 | 18 | 27 | 2,660 | ミノカサゴ、マンボウ、マツカサウオ、ツノダシ、マハゼ 他 |
| 県調査船 (いばらき丸)からの寄贈 | 9 | 22 | 132 | エドアブラザメ、ミドリフサアンコウ、クロテングギンザメ、オオグソクムシ 他 |
| 自家採集(涸沼、大洗マリーナ等) | 24 | 56 | 11,662 | シラウオ、イトマキヒトデ、ウミウシ類 アゴハゼ、イワガニ 他 |
| 生物交換【搬入】 (マリホ水族館、加茂水族館 八景島シーパラダイス 室蘭水族館) | 6 | 9 | 227 | タカアシガニ、スケトウダラ、エゾメバル、クラゲ類 他 |
| 生物交換【搬出】 (マリホ水族館、足摺海洋館、 なかがわ水遊園、室蘭水族館) | 4 | 10 | 139 | バリキャットシャーク、トラザメ、 クロベンケイガニ、チダイ 他 |

(イ) 生物展示の充実

- ・室戸沖の深海生物をテーマとする「おもしろ生物1~4水槽」について、現地よりアカシマダコ・テナガオオホモラなど15種55点を搬入した。
- ・室蘭水族館(姉妹水族館)との生物交換は、新型コロナウイルス感染症により宅配便で行った。搬入はスケトウダラ・エゾメバルなど5種16点、搬出はトラザメ・クエなど4種10点を行った。
- ・日本最長飼育記録を持つ稀少なイモリザメは、6月7日に死亡し、飼育日数7038日になった。後続で搬入したイモリザメは3月31日現在で飼育日数は5544日になり、更新中である。
- ・企画展「超サメ展」を実施し、20年間のシロワニ飼育から得た知見と繁殖成功の裏

話を紹介するとともに、館内のサメ展示を通してサメの多様性、特殊な生態を紹介した。

- ・上流水槽でのヤマメの展示効果を上げるために実施した給餌体験は、延べ 25,736 人の参加者数となった。

(ウ) 生物の繁殖育成

サメ・エイ類では、シロワニをはじめタイワンザメ、イヌザメ、ハルマヘラエパウレットシャーク等 10 種約 57 点、ダンゴウオ・ポットベリーシーホース・ガラ ルファ・ヤリタナゴの 4 種、クラゲ類ではミズクラゲ、サムクラゲ、アマガサクラゲ等 12 種が繁殖し、一部を展示に供した。

シロワニについては、昨年度胎動が確認できた個体が 6 月 17 日に出産し、国内での初繁殖事例になった。この個体については現在も順調に育成が進んでいる。

(エ) 調査・研究

新型コロナウイルスの影響で水族館外部での活動は制限されることが多かったが、本県に来遊するサメ類の調査として、クロヘリメジロザメ 2 点を収集し、各部位を計測後解剖しデータを収集した。また、飼育難易度の高いシロシュモクザメについては、昨年度より長期飼育（1 年以上）してきた個体を館内での展示に達することができ、現在も継続している。ウミガメ類の漂着調査については、アカウミガメ 8 個体を NPO 法人エバーラスティング・ネイチャーとの共同研究として解剖し、胃内容物などのデータを収集した。また、大洗マリーナ内で 5 回の潜水目視調査を行い、季節毎の来遊魚を観察し、一部を採集展示した。

(オ) 研究発表

当館で確認されたナースハウンド（サメ）の単為生殖（DNA 多型学会 口頭発表）、シロワニの槽内繁殖について（板鰓類シンポジウム 口頭発表）発表した。

(カ) 展示解説等

「バックヤードツアー」については、サメやマンボウ、出会いの海の大水槽で飼育員による給餌解説を実施した。また新規事業として企画展「超サメ展」に合わせ、サメ飼育に特化したバックヤードツアーに備蓄水槽での給餌体験を組み込んだ「サメスペシャルツアー」を実施した。また、館内及びバックヤードの案内を希望する学校団体に対して臨時解説を実施した。

| 区 分 | 場 所 | 回 数 | 参加者数 |
|-------------|-----------------------|----------|---------|
| バックヤードツアー | 5F バックヤード | 延べ 176 回 | 2,890 人 |
| サメスペシャルツアー | 5 F バックヤード 1F 備蓄水槽 | 延べ 106 回 | 1,851 人 |
| 学校バックヤードツアー | 5F バックヤード | 延べ 29 校 | 1,029 人 |

(キ) ミュージアムパーク茨城県自然博物館水系展示水槽管理委託事業

県自然博物館の水系展示水槽の委託業務として、展示生物の入手及び水槽・水質の維持管理を行い、ニッコウイワナ・ウグイ・ドチザメ等 67 種 905 点を展示した。また、館外においては、大洗マリーナでの潜水採集、磯採集等で収集を行い展示生物の充実を図ったほか、サイエンスデーでは、「バックヤードツアー」事業に協力し、標本資料の保管、博物館の定期刊行誌に寄稿するなど、博物館との連携協力を努めた。

イ 海獣展示

オーシャンライブについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、閉館のため実施できない期間もあったが、新たな取り組みとして夏期や開館 20 周年記念等、館イベントの一環として実施した他、茨城ロボッツとのコラボや大洗町成人式等で特別ライブを実施対応した。

また、オーシャンナイトライブのリニューアルを図り、夜営業の誘客促進に努めた。

展示水槽については、ペンギン水槽及びゴマフアザラシ水槽の経年劣化が激しく、動物の安全飼育のため、陸上部擬岩の撤去等改修を行った。

(ア) 展示の充実

- ・ゴマフアザラシ水槽について、動物が脱走しない仕様に改修し、3月19日（土）より、カリフォルニアアシカの展示を開始した。
- ・夏期オーシャンライブは「AQUA FES」と題して、夏の定番であるフェスイベントのように会場が一体となって盛り上がる内容（お客様参加型）で、7月10日（土）から8月5日（木）の期間実施した。
- ・オーシャンナイトライブについては、11月3日（水）より、テーマ「雪月花」としてリニューアル開催した。内容については、これまでの「音と光の演出」に、400インチ大型スクリーンを使用した「映像」の演出を加え、切り絵を用いたグラフィックをベースに、影絵や逆光感のあるバックライトなど、趣向を凝らした演出で四季折々の風景を表現した。
- ・開館 20 周年記念事業の一環として、「チョッパーのオーシャンライブ ～BIG WASH 島の元気を取り戻せ～」を、12月11日（土）から3月31日（木）まで、オリジナルストーリーで実施した。

(イ) 生物繁殖事業の推進

- ・鰭脚類は、ミナミアメリカオットセイ（愛称：みやび）が妊娠し、6月25日（金）仔獣を出産したが、7月16日（金）に死亡した。また、令和2年7月23日に当館で誕生したメスのカリフォルニアアシカ（個体No.23）について、千葉県動物公園と帰属協議の結果、千葉市の所有に決定したため、4月26日（月）に輸送搬出した。
- ・エトピリカは、10卵の産卵があり8羽が孵化した。うち5羽が順調に成長している。
- ・ペンギンは、57卵の産卵があったが、無精卵、抱卵途中での破卵、血統を考慮した廃棄等のため、3羽を孵化育成した。

(ウ) 調査・研究活動の推進

漂着については、鯨類 15 件、鰭脚類 1 件の調査を実施し、各種データの収集に努めた。また、東京大学・大気海洋研究所の研究テーマ「フンボルトペンギン塩類細胞の組織・発生学的研究」に対し、フンボルトペンギンの卵を提供した。さらに、自治医科大学の研究テーマ「食用魚に対する新規の防腐剤開発研究」に対し、飼育水サンプルを提供した。水産庁から、日本鯨類研究所と日本水族館協会が受託した「寄鯨調査事業」に関東近隣地区事務連絡担当館として協力し、千葉県白子町に座礁したイチョウハクジラの調査に参加したほか、神奈川県小田原市に漂着したマッコウクジラ及び横須賀市に漂着したザトウクジラについて近隣水族館への協力依頼を実施した。

(エ) 展示解説等

新型コロナウイルス感染症により屋内の給餌解説（エトピリカ、ゴマフアザラシ、カワウソ）は継続中止したが、屋外のフンボルトペンギン、ミナミアメリカオットセイは、「お食事タイム」を継続実施した。

なお、継続事業として、「イルカと泳ごう！2021」を7月に5日間、10月に20日間、

合計 25 日間、一部予定月を変更して実施し、128 名の参加者があった。

新規事業として、「カワウソのごはん」を 12 月に 6 日間、3 月に 4 日間、合計 10 日間実施し、35 組の参加者があった。また、「アシカフォト」を 10 月の平日 21 日間実施したが、参加者は 70 名と少なく、告知方法や内容、金額設定などに課題が残り改善が求められた。アシカタッチについては、実施予定時期と閉館が重なり、実施することができなかった。

| 区 分 | 場 所 | 回 数 | 参加者数 |
|--------------|--------------|---------|---------|
| イルカと泳ごう 2021 | ライブ用デモプール | 延べ 25 回 | 128 人 |
| ドルフィンフォト | アクアホール | 延べ 10 回 | 47 組 |
| カワウソのごはん | カワウソ水槽 | 延べ 10 回 | 35 組 |
| イルカタッチ | ライブ用デモプール | 延べ 38 回 | 900 人 |
| アシカフォト | ライブ用デモプール | 延べ 21 回 | 70 組 |
| ペンギンのごはん | ペンギン水槽 | 延べ 58 回 | 1,314 人 |
| アシカタッチ | ライブ用フロントステージ | 0 回 | 0 人 |
| エキサイティングシート | ライブ会場 | 延べ 48 日 | 1,859 人 |

(3) 教育普及事業

「楽しみながら学ぶ」をテーマに様々な活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、予定変更となった事業も多かった。その一方で、昨年度初めて行ったオンライン授業等については教育機関などからの問い合わせも多く、今後も活動の大きな柱の一つとなることが期待できる。

ア 発見体験学習

募集型の事業として「自然体験塾」、「マスタースクール」を 12 講座 23 回予定していたが、臨時休館やまん延防止等重点措置期間については開催を中止としたため、実施は 11 講座 13 回となり、計 133 名の参加があった。

イ コンピュータ情報運用管理

館内の情報端末において、水槽展示生物トピックス情報や環境保全、水族館の機能や役割等に関して情報発信を行ったほか、コンピュータシステムの正常な稼働を確保するための管理を行ったが、端末の老朽化や感染症対策のため、一部端末の撤去を行った。

ウ ボランティア活動支援

ボランティアグループ「マンボラクラブ」の支援を行う予定であったが、コロナ禍のため、すべての活動を休止せざるを得なかった。しかし、情報の共有・連携の確保、今後の運営方法の協議のため、臨時休館時やまん延防止等重点措置の適応がない時期については、概ね月 1 回の役員会を開催した。

エ 機関誌「Sea 遊」の発行

水生生物等への理解促進を支援するとともに、水族館のイメージアップ、広報を図るため、展示生物の興味深い生態やトピックス等の様々な情報を紹介する機関誌を年 2 回発行し、国内の動物園・水族館をはじめ、県内教育機関及び栃木県の小中学校の一部の小学校へ配付した。(発行部数：40 号 4,000 部、41 号 4,000 部)

オ 自然教室等への講師派遣

教育機関等の要請に応じた各種館外活動に関しては、魚類展示課・海獣展示課と連携して実施・実施調整を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響からオンラインでの講師依頼が多く、今後もこの傾向は続くと考えられる。

| 区分 | 実施日 | 対象 | 内容 | 参加者数 |
|---------|-----------|-----------|--------|------|
| オンライン授業 | 9月16日(木) | 笠原中学校 | 職業講話 | 50人 |
| オンライン授業 | 10月13日(水) | 常北中学校 | 職業講話 | 104人 |
| オンライン授業 | 10月14日(木) | 波崎第一中学校 | 職業講話 | 60人 |
| オンライン授業 | 10月28日(木) | つくば特別支援学校 | 生物関連 | 12人 |
| オンライン授業 | 11月19日(金) | 阿見町立朝日中学校 | 遠足事前学習 | 60人 |
| オンライン授業 | 11月29日(月) | つくば特別支援学校 | 生物関連 | 40人 |
| オンライン授業 | 12月1日(水) | 玉造中学校 | 職業講話 | 20人 |
| オンライン授業 | 12月1日(水) | 茨大付属小学校 | 生物関連 | 40人 |
| 講師派遣 | 12月12日(日) | 茨城県立図書館 | シロワニ関連 | 30人 |
| 講師派遣 | 1月18日(火) | 勝田第二中学校 | 職業講話 | 40人 |
| オンライン授業 | 2月16日(水) | 常陸大宮中学校 | 職業講話 | 131人 |

カ 研修会等の受入れ

教育機関や団体からの要請に応じて、水生生物や飼育設備等をテーマとして各種館内活動を行ったが、コロナ感染症の関係で16件938人のキャンセルとなった。

| 区分 | 対象 | 件数 | 参加者数 |
|----------|--------------|-----|--------|
| 職場体験 | 中学生～高校生 | 1件 | 2人 |
| バックヤード見学 | 小学生～大学・専門学校生 | 19件 | 1,119人 |

キ 実習生等の受入れ

令和2年1月の連携協定に基づき、茨城大学大学院教育学研究科の実習生11名を受け入れた。(実習期間；令和3年12月26日～令和4年1月15日の間計5日間)

コ 生物解説アプリ

スマートフォンを活用した「かざすAI図鑑」(リンネレンズ)の運用を継続するとともに、水槽展示の刷新に伴い、アプリ内情報の更新を行った。

(4) プロモーション活動(広報・営業)

新型コロナウイルス感染症により、夏の繁忙期に臨時休館を余儀なくされ、収入面において大きな痛手を受けたため、令和3年度においても通年で経費全体の抑制に努めた。

10月以降は、シロワニの赤ちゃんの展示、新オーシャンナイトライブ「雪月花」やワンピースコラボイベントの開催など、話題が尽きることなく、下期としては、開館以来、歴代2位の入場者数を記録することができた。

広報媒体についても、紙媒体から脱却し、WebやSNSによる情報発信を強化。Instagramにおいては11月にフォロワー数1万人を達成するなど、新たなステージに入ることができた。

営業活動においては、近隣のホテルと連携した「宿泊プラン」の販売や大洗町のふるさと納税返礼品への参加など、地元との関係強化に努めた。また、水族館の新たな利用方法の創出としてユニークベニューへの参画を行った。

ア 広報実績

コロナ禍において、プロモーション活動の自粛を余儀なくされたが、Web、SNS を中心に情報発信をおこなった。また、シロワニ繁殖に成功したことを広く広報し、多くの新聞やテレビ等で取り上げられ、サメの水族館としてのブランド強化を実現した。

さらに、「IWASHI LIFE」や新オーシャンナイトライブ「雪月花」においては、内覧会を開催することで、県内外のメディアに対してお披露目を行った。

| 区 分 | 有料広報 | | | 無料広報 | | |
|------|--------------|--------------|----------------|--------------|--------------|----------------|
| | R3 実績 (A) | R2 実績 (B) | 増 減 (A)-(B) | R3 実績 (C) | R2 実績 (D) | 増 減 (C)-(D) |
| 新聞掲載 | 0 件 | 2 件 | △2 件 | 185 件 | 154 件 | 31 件 |
| タウン誌 | 0 件 | 1 件 | △1 件 | 4 件 | 19 件 | △15 件 |
| 情報誌 | 0 件 | 16 件 | △16 件 | 55 件 | 28 件 | 27 件 |
| 広報誌 | 1 件 | 8 件 | △7 件 | 12 件 | 15 件 | △3 件 |
| テレビ | 0 件 | 7 件 | △7 件 | 50 件 | 45 件 | 5 件 |
| ラジオ | 0 件 | 13 件 | △13 件 | 9 件 | 3 件 | 6 件 |
| Web | 159 件 | 81 件 | 78 件 | 23 件 | 38 件 | △15 件 |
| その他 | 2 件 | 8 件 | △6 件 | 0 件 | 1 件 | △1 件 |
| 計 | 162 件 | 136 件 | 26 件 | 338 件 | 303 件 | 35 件 |

(ア) 有料広報

令和3年度についても、新型コロナウイルスの影響が強く残り、社会全体に出控えムードが漂い、当館においても繁忙期に臨時休館を余儀なくされた。そのため、情報の発信については、臨機応変に対応できるよう Web 媒体を中心に PR を行った。

また、令和3年度は、「日本初シロワニの赤ちゃんの誕生」というビッグイベントがあったため、10月展示開始のタイミングに合わせて、品川駅自由通路の大型モニターにおいて、大々的な PR 作戦を行った。

(イ) 無料広報

前年に引き続きコロナ禍の状況下で情報発信が制限されることが多かった。しかしながら、6月のシロワニ赤ちゃん誕生は、日本初ということもあり、多くのメディアで取り上げられた。8月に入ると約2ヶ月間の臨時休館を余儀なくされたが、10月にはシロワニ赤ちゃんを展示開始したため、再びメディアでの露出が高まった。さらに、11月は新オーシャンナイトライブ「雪月花」が、12月以降は「ワンピースコラボイベント」が多くのメディアに取り上げられるなど、下期は話題が尽きる事がなかった。

SNS においては Twitter と Instagram を中心に情報発信をおこなった。Twitter は約 18 万のフォロワー数を誇っており、生物情報、イベント情報、駐車場の満車状況など、様々な情報を発信。その中でも、マンボウのツイートは毎回反応がよく、フォロワー数の増加に貢献した。Instagram については、他の SNS よりもフォロワー数の伸びに勢いがあり、4月初旬に 6,600 だったフォロワー数が、11月には 1 万人を超え、URL リンクが可能になるなど、新たな展開が期待できるようになった。

イ 営業活動等

コロナ禍により令和3年8月6日より9月30日までの期間が閉館となり、また、まん延防止等重点措置等の影響を受け、当初予定していた営業活動はできなかったが、もう一つの案件であった地元との関係強化を図る足がかりをつくることができた。

(ア) 営業活動

- ・20周年事業・ナイトアクアワールドの誘致活動
県内の公共施設及び県内外観光施設へのパンフレット及びポスターの掲出
- ・リニューアルのPR活動
県内の公共施設及び県内外観光施設へのパンフレット及びポスターの掲出
- ・県内外の観光業者等へダイレクトメールの発送（コロナ禍のため訪問営業を自粛）
- ・旅行者を通し、周辺の中学校へ立志式利用を案内（実施に至らず）
- ・地元ホテルとの連携；「宿泊プラン」として、周辺ホテル16社との契約を行い、6月より送客を開始した。
- ・各県教育委員会と連携を図った学校等への情報発信 (単位：件)

| 区 分 | 教育委員会 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高 校 | 合 計 |
|-----|-------|-----|-------|-----|-----|-------|
| 茨城県 | (44) | 0 | 468 | 209 | 0 | 677 |
| 栃木県 | (25) | 0 | 424 | 164 | 0 | 588 |
| 埼玉県 | (22) | 0 | 412 | 211 | 0 | 623 |
| 千葉県 | (23) | 0 | 558 | 117 | 0 | 675 |
| 群馬県 | (19) | 0 | 236 | 121 | 0 | 357 |
| 福島県 | (24) | 0 | 284 | 153 | 0 | 437 |
| 合 計 | (157) | 0 | 2,382 | 975 | 0 | 3,357 |

(イ) 地元との関係強化

- ・ふるさと納税返礼品として、従来の年間パスポート以外に、売店商品やバックヤード見学等を盛り込んだプランを造成。年度内利用は115件329,810円となった。
- ・年間パスポート購入促進の一環として、地元企業との連携による特典付与を11月より開始。(3月末現在の特典利用数；643件)
- ・大洗町発行商品券の水族館での利用促進
全体で438枚(昨年度比41.7%増)の利用があった。

| 利用月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 合 計 |
|---------|----|--------|--------|----|--------|--------|--------|---------|
| 利用枚数(枚) | 0 | 164 | 49 | 0 | 102 | 79 | 44 | 438 |
| 利用金額(円) | 0 | 82,000 | 24,500 | 0 | 51,000 | 39,500 | 22,000 | 219,000 |

- ・大洗町成人式の開催(令和4年1月9日)
大洗町の成人式を開催し、その後貸し切りにて特別イルカ・アシカ オーシャンライブを行った。参加者118名

(ウ) 水族館の新たな利用方法の創出

- ・ユニークベニューへの参画
営業時間外の有効活用として、1月末よりユニークベニューへ参画した。また、この開始にあたり、令和4年1月27日に開催されたMICEシンポジウムで当館の取り組みを紹介した。

(エ) オンライン会議

- ・八景島シーパラダイスの営業担当と情報の共有とアドバイスを受ける。
(1回/月)

(オ) 内覧会の開催

- ・6月開始の「IWASHI LIFE(イワシライフ)」及び11月から始まったオーシャンナイトライブ「雪月花」のお披露目のため、メディア関係者や県・大洗町関係者を

招待し、内覧会を開催した。

| イベント名 | 開催日時 | 開催場所 | メディア参加者 |
|-------------------------|-------------------|-----------|---------|
| IWASHI LIFE (イワシライフ) | 6月17日(木) 17:00 | 出会の海の大水槽 | 8社11名 |
| 新オーシャンナイトライブ 雪月花 | 11月2日(火) 18:00 | オーシャンシアター | 8社8名 |

ウ アンケート調査の実施

毎月第4日曜日等に車輛ナンバー調査及び入場者アンケート調査の実施

(5) 事業推進活動・オペレーション

ア 催事等

開館20周年記念事業として、年間を通じて大きく5つのイベントを行った。一つ目は6月17日より開始した新しい館内プログラム「IWASHI LIFE」で、マスコミを招待した内覧会とともに、年間パスポート所有者を対象とした内覧会を初めての試みとして行った。7月より開始した「SUMMER AQUAWORLD2021」は特別バージョンのイルカ・アシカオーシャンライブをはじめ特別水槽の設置など館内全体で夏の雰囲気盛り上げるイベントであったが、8/5からの臨時休館により途中で終了とせざるを得なかった。10月1日の再開とともにスタートした「超サメ展」は、企画展示室での特別展示の他、館内全体を用いた「なぞときラリー」の開催、夜イベントとの連動(シャークナイト)など、様々なコンテンツを用意し、シロワニの赤ちゃん公開とも相まって、非常に大きな集客インパクトとなった。11月2日には新ナイトライブ「雪月花」のお披露目に合わせて、「IWASHI LIFE」の特別バージョンの開催やイルミネーション点灯などを行った。また、初めての試みとして閉館後のプレビューを開催した。

さらに12月より昨年度より準備してきたアニメとのコラボ企画「ONE PIECE ～BIG WASH 島の大冒険」ではタレントを用いたオープニングイベントを行い、3月末までの期間中の入場者は昨年度比160%(一昨年比123%)となった。

今年度は例年とは大きく異なり、感染対策の徹底と混雑回避が不可欠となり、入場者数減少に伴う収入減を補うため、館内での客単価アップを施策の大きな目的のひとつとし、有料プログラムを特に下半期には積極的に取り入れ、課ごとに各催事の計画から運営、報告までを対応するスタイルを確立した。夜間営業を除く催事での有料イベントにおけるイベント収入の合計は、1,880千円余(昨年度709千円余、264.8%)となった。

また、夜間営業は土曜日の夜の定期的な開催に加え、3連休や冬休み・春休みなどの集客が見込まれる日については、営業を行った。参加者数は昨年比13.6%増の11,991名となった。

(日中営業)

| 実施日 | 催事名 | 入場者数 |
|--------------------|-----------------------------------|----------|
| 6月17日(木)～(通年) | IWASHI LIFE | — |
| 7月10日(土)～8月5日(木) | SUMMER AQUAWORLD 2021 | 100,919人 |
| 10月1日(金)～1月10日(月祝) | 超サメ展 | 333,760人 |
| 11月28日(日)～1月23日(日) | AQUAWORLD Oarai ARENA(茨城ロボットツコラボ) | 151,768人 |
| 11月2日(火)～(通年) | 新ナイトライブ「雪月花」 | — |
| 12月11日(土)～3月31日(木) | ONE PIECE～Big Wash 島の大冒険 | 262,723人 |
| 3月1日(火)～3月31日(木) | THANKS 20YEARS in AQUAWORLD | 84,488人 |

(夜間営業)

| 実施日 | 催事名 | 入場者数 |
|--|-----------------|---------|
| 4月3日～24日の土曜日(4回) 5月15日～7月3日の土曜日(8回) | NIGHT AQUAWORLD | 3,475人 |
| 5月1日(土) 5月7日(土) | シャークナイト | 976人 |
| 7月10日(土) | IBARAKI ナイト | 500人 |
| 7月17日(土) 7月31日(土) | 宴夜 2021 | 313人 |
| 7月22日(木) 7月23日(金) | シンプルナイト | 734人 |
| 10月16日(土) 23日(土) 30日(土) | パケットのぞき見ナイト | 632人 |
| 11月2日(火) | 雪月花プレビュー | 211人 |
| 11月3日(水) 11月6日(土) | 雪月花お披露目会 | 383人 |
| 11月13日～12月11日の土曜日(5回) 12月26日～12月30日(5回) 1月15日(土) 1月22日(土) 3月5日(土) 3月12日(土) 3月26日～3月30日(5回) | NIGHT AQUAWORLD | 2,933人 |
| 12月18日(土) 12月25日(土) | クリスマスナイト | 1,068人 |
| 1月8日(土) 1月9日(日) | シャークナイト | 471人 |
| 3月19日(土) 3月20日(日) | サンクスナイト | 295人 |
| 計 | 12事業 | 11,991人 |

イ オペレーション等

(ア) Web 販売

昨年度より導入したアソビュー！株式会社の日時指定型の Web チケットでチケットの販売数に上限を設けることにより、ゴールデンウィーク及び7月4連休の入場者数のコントロールに努めた。また、「NIGHT AQUAWORLD」をはじめとする夜間イベントにおいても当該 Web チケットのシステムを活用したほか、10月より年間パスポートの Web チケット展開も開始し、6か月間で890枚の売り上げとなった。また、今年度からの新たな試みとして、イベントと連動したセット券の販売も行った。

(入場者数管理を目的とした Web チケットの販売)

| 区 分 | 内 容 |
|--------------------------------|--|
| ①ゴールデンウィーク 5月1日(土)～5月5日(水祝) | 日時指定 Web チケットのみ販売・入場 (年パス再入場、減免割引は OK、各種割引は停止) |
| ②7月4連休 7月22日(木)～25日(日) | Web チケットのみ販売・入場 (年パスは新規も再入場も OK、減免割引も OK、各種割引は停止) |

(誘客を目的とした特別 Web チケットの販売)

| 名 称 | 販売期間 |
|-------------------|--------------------|
| 超サメ展記念サメ満喫セット | 10月1日(金)～12月5日(日) |
| どすこいすしずもう親子お寿司セット | 10月21日(木)～12月5日(日) |

(イ) 窓口・インフォメーション業務

| 区 分 | 内 容 |
|-----------------------------|---|
| 新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策 | ・昨年度からの感染対策の徹底 ・ピープルカウンター導入による館内滞留人数の随時把握 ・自動ゲートの導入 |
| 団体予約制限 | 入場者数管理の観点から感染状況に応じて、適宜予約数を決定・周知。 |
| 地元商品券の利用促進 ・大洗町プレミアム付商品券 | 大洗町発行の商品券の利用に対応。地元町民との結びつきにアプローチした。 |
| 地元企業との連携 | 年間パスポートの特典として、地元企業との連携（割引）などを開始した。 |
| いばらきあんしん割への参画 | いばらきあんしん割については、イベント開始時より参画し、途中中止等もはさんだが最終的に 3,516 枚の利用があった。 |

(6) 管理運営部門

ア 管理運営

入場者の安全を確保するため、有事の際に迅速な避難誘導を行えるよう、通常実施している消防訓練のほか、地震による津波を想定した防災訓練を実施し、職員の危機管理対応力の向上に努めたほか、原発事故の風評被害払拭のため、放射線量の測定を毎日継続するとともに、その結果をホームページにて公表し、安全性のアピールにも努めた。

さらに、敷地内構内道路の安全対策として、構内制限速度標識の設置や、構内通り抜けが出来ないことを周知するための看板を設置し、安心・安全な環境を整備した。

その他、県で電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の普及促進を図るため、電気自動車用急速充電器を大型バス駐車場に設置した。

イ 助成金の活用

・文化庁へコロナ対策経費として、文化施設感染症防止対策事業補助金を申請し支給された。(672,450 円)

・茨城労働局へ新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館措置費用として雇用調整・雇用安定助成金を申請し支給された。(13,036,330 円)

ウ テナント関連事業

マーケットプレイス連絡会議の事業では、休館日を利用して実施していた先進施設視察研修は、コロナ禍により今年度も中止とした。接遇研修は昨年引き続き、感染対策に興じながら、接遇マナーの基本とホスピタリティの研修を実施した。

エ 施設整備

中長期修繕計画を基本に各種修繕工事を実施するとともに、強風や高潮等の自然災害による建築設備修繕並びに機械設備の経年劣化等不具合による突発的な修繕に対応するなど、施設の安全・維持管理対策に努めた。また、2階深海エレベーター前及び3階もぎり(出口側)脇の扉前に開閉エリアを標示し衝突事故防止対策を実施することで、入場者に安心・安全な環境の整備など、延べ107件(昨年110件)の工事を実施した。

さらに、機械設備の経年劣化に対応するため、畜養棟ヒートポンプチラー更新、事務所系

統他空調設備更新を実施し、建築設備では、令和2年度から繰越となった外壁塗装改修工事を実施した。

省エネルギーについては、省エネルギー委員会を毎月開催し、職員の省エネ意識の向上を図るとともに、省エネ対策として、上水や海水使用量の見直しや LED 照明への転換を進めたことに加え、LED 照明等省エネ性能に配慮した機器の導入に努めた。また、営業時間の見直しによるエネルギー使用量の削減及び省エネ結果として、省エネ法で定めるエネルギー使用量 5 年平均 1 % 以上削減目標を達成し、前年比 2 % 削減することができた。事業者クラス分け評価制度において、2016 年度から連続 S クラス省エネ優良事業者（目標達成事業者）として、資源エネルギー庁のホームページで公表された。

4 収益事業 2（水族館売店事業）

（1）物販部門

地域に貢献する観光拠点施設としての役割を踏まえ、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を施しながら、マーケットプレイスの物販部門及び水族館内のコレクターズショップ、リラックスカフェの運営を行った。

ソーシャルディスタンス対策として、レジ付近に足元のフットマークを新たに表示し、感染症対策の一環としても、全店舗にクレジットカード決済の他に電子マネー決済を 12 月に追加導入を行い利便性の向上を図ったほか、利用できるレジの間隔を開けたりして感染防止に努めた。

スーパーマーケット「モラモラ」においては、他館では購入できないオリジナル商品の開発・販売に注力し、日本初シロワニ赤ちゃんの生まれた時と同サイズ（体長）のぬいぐるみや、飼育羽数日本一のエトピリカをモチーフにしたグッズの展開やアイテム数も増やした。

今年度も「すみっこぐらし」水族館限定の新商品の取り扱いを行ったほか、当館限定の「えびふらいのしっぽ」シリーズ第 2 弾としてメンダコ「てのりぬいぐるみ」と「あつめてぬいぐるみ」を新たに販売、ツイッター等 SNS でも大きな反響を呼び、追加継続再販している。

1 月 2 日～3 日には福引カプセルを初めて 1,000 円で販売し 2 日間で 1,000 個を完売し好評を得た。

コレクターズショップ「ガレオス」では、飼育員監修のオリジナルフィギュアコレクション SHARKS 1st やクラゲの下敷き等を販売。新たな試みとして、当館のシロワニの抜歯を使用したストラップやチョーカー等を製作し数量限定で販売するも完売した。

さらにアニバーサリーギフトセットを記念日に 20 個限定で販売を行ったほか、オリジナルクラフトビールを地元大洗の醸造所と共同開発し、新水族館開館 20 周年を記念して数量限定で販売、大洗の企業支援・経済の活性化にも寄与した。

また、開館 20 周年記念事業のワンピース会場限定オリジナルグッズを 15 種 42 アイテムも販売し、売店の売上げに貢献した。

レジ袋の有料化を 3 月 1 日より開始した。環境に配慮した LIMEX（石灰石）使用の 4 サイズレジ袋をロゴデザインに変更、価格も 1 枚 5 円～20 円で販売し、レジ袋提供枚数は約 1/2 削減された。

（2）飲食部門

リラックスカフェ「マーメイド」では、新しいイwashipフォーマンス「IWASHI LIFE」とのタイアップメニュー「出会いの海」をはじめ、イベントに応じた特別メニューを販売し、特に開館 20 周年記念事業「ワンピース BIG WASH 島の冒険！ IN アクアワールド・大洗」限定グルメ 4 メニューは好評を博した。

また、ナイト営業においては、当館のロゴマークをイメージしたノンアルコールカクテル「アクアワールドモクテル」やオーシャンナイトライブ～雪月花～にあわせた「雪月花ジェラ

ート」などのナイト限定メニューを新たに販売し、ナイト営業の魅力向上及び収入増を図った。

(売上実績)

(単位：円)

| 物販部門 | | 飲食部門 | |
|-----------------------------------|---|---|---|
| 区 分 | 売上額 | 区 分 | 売上額 |
| モラモラ・ガレオス (R3 計画比) (R2 実績比) | 479,967,940 (△71,500,192) (123,630,234) | マーメイドギャラリー (R3 計画比) (R2 実績比) | 75,309,640 (△12,675,851) (29,788,400) |
| 自動販売機 (R3 計画比) (R2 実績比) | 6,589,888 (△2,531,382) (840,884) | — | — |
| 計 (R3 計画比) (R2 実績比) | 486,557,828 (△74,031,574) (124,471,118) | 計 (R3 計画比) (R2 実績比) | 75,309,640 (△12,675,851) (29,788,400) |
| 水族館売店事業合計 (R3 計画比) (R2 実績比) | | 561,867,468 (△86,707,425) (154,259,518) | |

(利用率)

| 物販部門 | | 飲食部門 | |
|-----------------------|--------------------------|-----------------------|--------------------------|
| 総入場者数(A) (R2 実績) | 798,904 人 (645,052 人) | 総入場者数(A) (R2 実績) | 798,904 人 (645,052 人) |
| 利用件数(B) (R2 実績) | 206,509 件 (162,000 件) | 利用件数(B) (R2 実績) | 64,365 件 (48,892 件) |
| 利用率(B)/(A) (R2 実績) | 25.8% (25.1%) | 利用率(B)/(A) (R2 実績) | 8.1% (7.6%) |

※利用件数は、レシート発行数による利用。

5 法人運営事業

茨城県立県民文化センター及びアクアワールド茨城県大洗水族館を効果的効率的に運営管理するため、理事会及び評議員会をはじめ、諸会議の開催、財務及び組織の適切な管理を行ったほか、オンライン研修の導入及び特別研修としてのハラスメント研修実施により、人材育成・内部統制の強化にも努めた。

なお、新型コロナの影響で極めて厳しい経営環境を改善するため、各種助成金（雇用調整助成金、事業復活支援金 他）を積極的に活用して財源確保を図った。

(1) 理事会・評議員会等開催実績

| 項目 | 開催日 | 議案 |
|-------------------------------|-----------|--|
| 監事監査 | 5月11日(火) | 令和2年度事業報告及び決算 |
| 令和3年度第1回理事会 (出席人数 9/12) | 5月14日(金) | 第1号議案：令和2年度事業報告及び決算について 第2号議案：令和3年度定時評議員会の招集について |
| 令和3年度定時評議員会 (出席人数 9/12) | 5月31日(月) | 第1号議案：評議員12名選任の件 第2号議案：役員14名選任の件 第3号議案：令和2年度決算について |
| 令和3年度第2回理事会 (決議の省略による理事会) | 5月31日(月) | 第1号議案：理事長選定の件 第2号議案：専務理事選定の件 |
| 監事監査 | 7月16日(金) | 令和2年度正味財産増減計算書 |
| 令和3年度第3回理事会 (出席人数 12/12) | 7月26日(月) | 第1号議案：茨城県立県民文化センター利用料金規定の一部改正の件 第2号議案：令和2年度決算の一部訂正の件 第3号議案：令和3年度臨時評議員会招集の件 |
| 令和3年度臨時評議員会 (決議の省略による評議員会) | 8月6日(金) | 提案事項：評議員1名選任の件 令和2年度決算の一部訂正の件 |
| 監事監査 | 12月2日(木) | 令和3年度上半期事業報告及び決算 |
| 令和3年度第4回理事会 (出席人数 11/12) | 12月20日(月) | 議案：令和4年度自主公演事業計画及び収支見込み承認の件 |
| 令和3年度第5回理事会 (出席人数 10/12) | 3月24日(木) | 第1号議案：令和4年度事業計画及び収支予算承認の件 第2号議案：組織規程改正の件 第3号議案：令和4年度役員賠償責任保険継続加入の件 |

(2) 新型コロナ関連助成金申請実績

| NO | 項目 | 内容 | 助成額 |
|----|----------------------|--|---|
| 1 | 文化振興推進事業 | 文化庁文化芸術振興費補助金 | 14,180,000円 |
| 2 | 指定管理事業 (県民文化センター) | 水戸市事業継続特別対策支援金 文化庁文化芸術振興費補助金 緊急雇用安定助成金(有期雇用職員9月分) 県有施設入居事業者支援金 | 200,000円 321,000円 36,720円 469,000円 |
| 3 | 大洗水族館事業 | 文化庁文化施設感染症防止対策事業補助金 雇用調整助成金(有期雇用職員1月・2月・8月・9月分) 緊急雇用安定助成金(看護師1月・2月・8月・9月分) | 672,450円 12,835,342円 200,988円 |
| 計 | | | 28,915,500円 |

Ⅱ 決算報告書

| | |
|----------------------|---------|
| ○ 正味財産増減計算書 | 23 ~ 24 |
| ○ 正味財産増減計算書内訳表 | 25 ~ 26 |
| ○ 貸借対照表 | 27 ~ 28 |
| ○ 計算書類に対する注記 | 29 ~ 32 |
| ○ 附属明細書 | 33 |
| ○ 財産目録 | 34 ~ 35 |

令和3年度 正味財産増減計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|------------------------|---------------|---------------|---------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| ① 基本財産等運用益 | 312,900 | 312,900 | 0 |
| 基本財産等受取利息 | 312,900 | 312,900 | 0 |
| ② 特定資産運用益 | 1,979,171 | 2,093,599 | △ 114,428 |
| 退職給付引当資産運用益 | 51,590 | 47,849 | 3,741 |
| 積立資産運用益 | 1,927,581 | 2,045,750 | △ 118,169 |
| ③ 事業収益 | 1,963,638,787 | 1,588,892,019 | 374,746,768 |
| 自主公演入場料収益 | 6,994,300 | 2,932,400 | 4,061,900 |
| 受託公演入場料収益 | 359,000 | 0 | 359,000 |
| 手数料収益 | 6,954,766 | 1,821,360 | 5,133,406 |
| 負担金収益 | 2,200,000 | 2,145,000 | 55,000 |
| 受託公演委託金収益 | 25,815,505 | 21,176,504 | 4,639,001 |
| 県民文化センター指定管理収益 | 193,167,800 | 208,820,400 | △ 15,652,600 |
| 県民文化センター利用料収益 | 69,649,931 | 39,880,445 | 29,769,486 |
| 自然博物館水系展示水槽 管理委託金収益 | 14,776,107 | 15,733,646 | △ 957,539 |
| 水族館入場料収益 | 1,066,152,590 | 879,225,330 | 186,927,260 |
| 売店収益 | 564,170,778 | 409,419,824 | 154,750,954 |
| 駐車場利用料収益 | 13,398,010 | 7,737,110 | 5,660,900 |
| ④ 受取補助金等 | 157,479,759 | 255,789,875 | △ 98,310,116 |
| 受取財団運営費補助金 | 49,749,259 | 51,983,457 | △ 2,234,198 |
| 県有施設支援金収益 | 469,000 | 178,969,000 | △ 178,500,000 |
| 受取助成金 | 32,261,500 | 24,837,418 | 7,424,082 |
| 受取水族館20周年事業補助金収益 | 75,000,000 | 0 | 75,000,000 |
| ⑤ 雑収益 | 29,876,502 | 20,412,596 | 9,463,906 |
| 雑収益 | 29,876,502 | 20,412,596 | 9,463,906 |
| ⑥ 指定正味財産からの振替額 | 0 | 0 | 0 |
| 経常収益計(A) | 2,153,287,119 | 1,867,500,989 | 285,786,130 |
| (2) 経常費用 | | | |
| ① 事業費 | 2,120,630,204 | 1,986,587,671 | 134,042,533 |
| 文化活動団体等助成金 | 13,061,000 | 5,916,000 | 7,145,000 |
| 役員報酬 | 12,031,384 | 11,534,371 | 497,013 |
| 給料手当 | 524,299,139 | 517,658,504 | 6,640,635 |
| 臨時雇賃金 | 2,878,085 | 2,397,376 | 480,709 |
| 福利厚生費 | 6,998,536 | 6,835,924 | 162,612 |
| 法定福利費 | 82,061,895 | 82,583,692 | △ 521,797 |
| 報償費 | 8,198,690 | 8,099,263 | 99,427 |
| 旅費交通費 | 1,627,484 | 1,898,142 | △ 270,658 |
| 接待交際費 | 20,000 | 40,000 | △ 20,000 |
| 消耗品費 | 36,340,190 | 35,656,979 | 683,211 |
| 燃料費 | 43,508,695 | 35,797,900 | 7,710,795 |
| 会議費 | 267,696 | 249,978 | 17,718 |
| 印刷製本費 | 10,912,670 | 10,693,800 | 218,870 |
| 光熱水料費 | 172,551,314 | 154,874,356 | 17,676,958 |
| 修繕費 | 30,968,638 | 34,666,257 | △ 3,697,619 |
| 飼料費 | 25,634,026 | 23,681,375 | 1,952,651 |
| 医薬材料費 | 1,693,847 | 1,341,944 | 351,903 |
| 賄材料費 | 29,929,956 | 18,170,014 | 11,759,942 |
| 通信運搬費 | 4,185,609 | 4,354,443 | △ 168,834 |
| 広告宣伝費 | 6,000,130 | 9,497,062 | △ 3,496,932 |
| 支払手数料 | 41,511,602 | 37,774,423 | 3,737,179 |
| 保険料 | 1,822,306 | 1,910,590 | △ 88,284 |
| 委託費 | 599,644,406 | 522,244,897 | 77,399,509 |
| 賃借料 | 25,656,116 | 29,064,737 | △ 3,408,621 |

(単位:円)

| 科 目 | | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|-----|-----------------|---------------|---------------|---------------|
| | 工事請負費 | 27,243,260 | 2,109,800 | 25,133,460 |
| | 原材料費 | 299,370,865 | 219,381,184 | 79,989,681 |
| | 生物購入費 | 7,002,490 | 10,128,414 | △ 3,125,924 |
| | 支払負担金 | 1,954,070 | 1,580,268 | 373,802 |
| | 租税公課 | 63,533,250 | 49,362,300 | 14,170,950 |
| | 退職給付費用 | 21,433,714 | 29,081,704 | △ 7,647,990 |
| | 雑 費 | 2,600 | 16,023 | △ 13,423 |
| | 修繕工事負担金 | 0 | 95,672,850 | △ 95,672,850 |
| | 県納付金 | 359,000 | 0 | 359,000 |
| | 減価償却費 | 17,927,541 | 22,313,101 | △ 4,385,560 |
| ② | 管理費 | 14,102,593 | 12,609,626 | 1,492,967 |
| | 役員報酬 | 1,543,697 | 1,444,058 | 99,639 |
| | 給料手当 | 4,010,792 | 3,978,470 | 32,322 |
| | 臨時雇賃金 | 0 | 0 | 0 |
| | 福利厚生費 | 98,174 | 56,193 | 41,981 |
| | 法定福利費 | 749,459 | 761,485 | △ 12,026 |
| | 報償費 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| | 旅費交通費 | 858,796 | 39,998 | 818,798 |
| | 接待交際費 | 0 | 0 | 0 |
| | 消耗品費 | 675,138 | 650,068 | 25,070 |
| | 燃料費 | 19,392 | 17,742 | 1,650 |
| | 会議費 | 10,199 | 11,668 | △ 1,469 |
| | 印刷製本費 | 602,618 | 480,172 | 122,446 |
| | 光熱水料費 | 125,267 | 110,098 | 15,169 |
| | 修繕費 | 151,947 | 0 | 151,947 |
| | 医薬材料費 | 0 | 0 | 0 |
| | 通信運搬費 | 411,605 | 310,375 | 101,230 |
| | 広告宣伝費 | 0 | 0 | 0 |
| | 支払手数料 | 129,622 | 134,764 | △ 5,142 |
| | 保険料 | 308,160 | 166,406 | 141,754 |
| | 委託費 | 494,840 | 665,814 | △ 170,974 |
| | 賃借料 | 1,013,692 | 794,963 | 218,729 |
| | 支払負担金 | 1,086,827 | 566,353 | 520,474 |
| | 租税公課 | 54,800 | 50,250 | 4,550 |
| | 退職給付費用 | 1,687,876 | 2,290,145 | △ 602,269 |
| | 雑費 | 0 | 0 | 0 |
| | 減価償却費 | 49,692 | 80,604 | △ 30,912 |
| | 経常費用計(B) | 2,134,732,797 | 1,999,197,297 | 135,535,500 |
| | 当期経常増減額(A)-(B) | 18,554,322 | △ 131,696,308 | 150,250,630 |
| 2 | 経常外増減の部 | | | |
| | (1)経常外収益 | | | |
| | 固定資産売却益 | 0 | 0 | 0 |
| | 経常外収益計(C) | 0 | 0 | 0 |
| | (2)経常外費用 | | | |
| | ① 固定資産除去損 | | | |
| | 固定資産売却・除却損 | 7 | 160,792 | △ 160,785 |
| | 経常外費用計(D) | 7 | 160,792 | △ 160,785 |
| | 当期経常外増減額(C)-(D) | △ 7 | △ 160,792 | 160,785 |
| | 当期一般正味財産増減額 | 18,554,315 | △ 131,857,100 | 150,411,415 |
| | 一般正味財産期首残高 | 1,202,321,079 | 1,334,178,179 | △ 131,857,100 |
| | 一般正味財産期末残高 | 1,220,875,394 | 1,202,321,079 | 18,554,315 |
| II | 指定正味財産増減の部 | | | |
| | ① 一般正味財産への振替額 | 0 | 0 | 0 |
| | 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| | 指定正味財産期首残高 | 565,000,000 | 565,000,000 | 0 |
| | 指定正味財産期末残高 | 565,000,000 | 565,000,000 | 0 |
| III | 正味財産期末残高 | 1,785,875,394 | 1,767,321,079 | 18,554,315 |

令和3年度 正味財産増減計算書内訳表
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位:円)

| 科目 \ 区分 | 公益目的事業会計 | | | 収益事業会計 | | | 法人会計 | 合計 |
|--------------------|----------------------|---------------------|---------------|----------------------|-------------------------------|-------------|------------|---------------|
| | 公1 文化 振興 事業 | 公2 水族 館 事業 | 小計 | 収1 文化 自主 事業 | 収2 水族 館 売 店 事業 | 小計 | | |
| I 一般正味財産増減の部 | | | | | | | | |
| 1 経常増減の部 | | | | | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | | | | | |
| ① 基本財産等運用益 | 312,900 | 0 | 312,900 | 0 | 0 | 0 | 0 | 312,900 |
| ② 特定資産運用益 | 1,926,718 | 39,018 | 1,965,736 | 2,475 | 7,194 | 9,669 | 3,766 | 1,979,171 |
| ③ 事業収益 | 297,386,520 | 1,080,928,697 | 1,378,315,217 | 23,456,102 | 561,867,468 | 585,323,570 | 0 | 1,963,638,787 |
| 自主公演入場料収益 | 6,994,300 | 0 | 6,994,300 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6,994,300 |
| 受託公演入場料収益 | 359,000 | 0 | 359,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 359,000 |
| 手数料収益 | 6,373,927 | 0 | 6,373,927 | 580,839 | 0 | 580,839 | 0 | 6,954,766 |
| 負担金収益 | 2,200,000 | 0 | 2,200,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2,200,000 |
| 受託公演委託金収益 | 25,815,505 | 0 | 25,815,505 | 0 | 0 | 0 | 0 | 25,815,505 |
| 県民文化センター指定管理収益 | 193,167,800 | 0 | 193,167,800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 193,167,800 |
| 県民文化センター利用料収益 | 62,475,988 | 0 | 62,475,988 | 7,173,943 | 0 | 7,173,943 | 0 | 69,649,931 |
| 自然博物館水系展示水槽管理委託金収益 | 0 | 14,776,107 | 14,776,107 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14,776,107 |
| 水族館入場料収益 | 0 | 1,066,152,590 | 1,066,152,590 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1,066,152,590 |
| 売店収益 | 0 | 0 | 0 | 2,303,310 | 561,867,468 | 564,170,778 | 0 | 564,170,778 |
| 駐車場利用料収益 | 0 | 0 | 0 | 13,398,010 | 0 | 13,398,010 | 0 | 13,398,010 |
| ④ 受取補助金等 | 28,770,380 | 81,046,260 | 109,816,640 | 537,720 | 33,030,838 | 33,568,558 | 14,094,561 | 157,479,759 |
| 受取財団運営費補助金 | 10,286,380 | 25,368,318 | 35,654,698 | 0 | 0 | 0 | 14,094,561 | 49,749,259 |
| 県有施設支援金収益 | 0 | 0 | 0 | 469,000 | 0 | 469,000 | 0 | 469,000 |
| 受取助成金 | 18,484,000 | 6,560,442 | 25,044,442 | 68,720 | 7,148,338 | 7,217,058 | 0 | 32,261,500 |
| 受取水族館20周年事業補助金収益 | 0 | 49,117,500 | 49,117,500 | 0 | 25,882,500 | 25,882,500 | 0 | 75,000,000 |
| ⑤ 雑収益 | 1,249,297 | 19,889,011 | 21,138,308 | 2,300 | 8,731,627 | 8,733,927 | 4,267 | 29,876,502 |
| 雑収益 | 1,249,297 | 19,889,011 | 21,138,308 | 2,300 | 8,731,627 | 8,733,927 | 4,267 | 29,876,502 |
| ⑥ 指定正味財産からの振替額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 経常収益計(A) | 329,645,815 | 1,181,902,986 | 1,511,548,801 | 23,998,597 | 603,637,127 | 627,635,724 | 14,102,594 | 2,153,287,119 |
| (2) 経常費用 | | | | | | | | |
| ① 事業費 | 351,165,270 | 1,181,846,778 | 1,533,012,048 | 21,644,099 | 565,974,057 | 587,618,156 | | 2,120,630,204 |
| 文化活動団体等助成金 | 13,061,000 | 0 | 13,061,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13,061,000 |
| 役員報酬 | 3,019,669 | 7,835,250 | 10,854,919 | 0 | 1,176,465 | 1,176,465 | | 12,031,384 |
| 給与手当 | 114,813,881 | 324,616,339 | 439,430,220 | 8,101,303 | 76,767,616 | 84,868,919 | | 524,299,139 |
| 臨時雇賃金 | 62,124 | 1,004,236 | 1,066,360 | 0 | 1,811,725 | 1,811,725 | | 2,878,085 |
| 福利厚生費 | 1,584,064 | 4,453,311 | 6,037,375 | 78,598 | 882,563 | 961,161 | | 6,998,536 |
| 法定福利費 | 18,032,693 | 51,654,087 | 69,686,780 | 1,212,813 | 11,162,302 | 12,375,115 | | 82,061,895 |
| 報償費 | 7,951,685 | 247,005 | 8,198,690 | 0 | 0 | 0 | | 8,198,690 |
| 旅費交通費 | 1,607,296 | 20,188 | 1,627,484 | 0 | 0 | 0 | | 1,627,484 |
| 接待交際費 | 0 | 17,352 | 17,352 | 0 | 2,648 | 2,648 | | 20,000 |
| 消耗品費 | 5,642,987 | 19,845,371 | 25,488,358 | 165,550 | 10,686,282 | 10,851,832 | | 36,340,190 |
| 燃料費 | 3,996,980 | 34,278,221 | 38,275,201 | 0 | 5,233,494 | 5,233,494 | | 43,508,695 |
| 会議費 | 259,131 | 6,980 | 266,111 | 0 | 1,585 | 1,585 | | 267,696 |
| 印刷製本費 | 4,447,704 | 5,268,947 | 9,716,651 | 0 | 1,196,019 | 1,196,019 | | 10,912,670 |
| 光熱水料費 | 20,017,193 | 131,623,859 | 151,641,052 | 823,818 | 20,086,444 | 20,910,262 | | 172,551,314 |
| 修繕費 | 14,616,800 | 15,012,133 | 29,628,933 | 0 | 1,339,705 | 1,339,705 | | 30,968,638 |
| 飼料費 | 0 | 25,634,026 | 25,634,026 | 0 | 0 | 0 | | 25,634,026 |
| 医薬材料費 | 580 | 1,469,078 | 1,469,658 | 0 | 224,189 | 224,189 | | 1,693,847 |
| 賄材料費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 29,929,956 | 29,929,956 | | 29,929,956 |
| 通信運搬費 | 2,009,345 | 1,656,735 | 3,666,080 | 2,180 | 517,349 | 519,529 | | 4,185,609 |
| 広告宣伝費 | 3,547,130 | 2,128,223 | 5,675,353 | 0 | 324,777 | 324,777 | | 6,000,130 |
| 支払手数料 | 3,972,224 | 26,962,450 | 30,934,674 | 61,176 | 10,515,752 | 10,576,928 | | 41,511,602 |
| 保険料 | 453,150 | 755,112 | 1,208,262 | 317,490 | 296,554 | 614,044 | | 1,822,306 |
| 委託費 | 102,062,094 | 422,026,417 | 524,088,511 | 7,717,613 | 67,838,282 | 75,555,895 | | 599,644,406 |
| 賃借料 | 10,342,693 | 12,263,303 | 22,605,996 | 160,826 | 2,889,294 | 3,050,120 | | 25,656,116 |
| 工事請負費 | 0 | 27,243,260 | 27,243,260 | 0 | 0 | 0 | | 27,243,260 |
| 原材料費 | 0 | 0 | 0 | 1,652,248 | 297,718,617 | 299,370,865 | | 299,370,865 |
| 生物購入費 | 0 | 7,002,490 | 7,002,490 | 0 | 0 | 0 | | 7,002,490 |
| 支払負担金 | 346,100 | 1,274,976 | 1,621,076 | 8,582 | 324,412 | 332,994 | | 1,954,070 |
| 租税公課 | 11,597,742 | 33,904,961 | 45,502,703 | 540,389 | 17,490,158 | 18,030,547 | | 63,533,250 |
| 退職給付費用 | 5,364,209 | 12,555,023 | 17,919,232 | 670,526 | 2,843,956 | 3,514,482 | | 21,433,714 |
| 雑費 | 0 | 2,249 | 2,249 | 0 | 351 | 351 | | 2,600 |
| 修繕工事負担金 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 県納付金 | 359,000 | 0 | 359,000 | 0 | 0 | 0 | | 359,000 |
| 減価償却費 | 1,997,796 | 11,085,196 | 13,082,992 | 130,987 | 4,713,562 | 4,844,549 | | 17,927,541 |

(単位:円)

| 科目 \ 区分 | 公益目的事業会計 | | | 収益事業会計 | | | 法人会計 | 合計 |
|-----------------|----------------------|---------------------|---------------|----------------------------|---------------------------|--------------|------------|---------------|
| | 公1 文化 振興 事業 | 公2 水族 館事 業 | 小計 | 収1 文化 自主 セン ター | 収2 水族 館売 店事 業 | 小計 | | |
| ② 管理費 | | | | | | | 14,102,593 | 14,102,593 |
| 役員報酬 | | | | | | | 1,543,697 | 1,543,697 |
| 給料手当 | | | | | | | 4,010,792 | 4,010,792 |
| 臨時雇賃金 | | | | | | | 0 | 0 |
| 福利厚生費 | | | | | | | 98,174 | 98,174 |
| 法定福利費 | | | | | | | 749,459 | 749,459 |
| 報償費 | | | | | | | 20,000 | 20,000 |
| 旅費交通費 | | | | | | | 858,796 | 858,796 |
| 接待交際費 | | | | | | | 0 | 0 |
| 消耗品費 | | | | | | | 675,138 | 675,138 |
| 燃料費 | | | | | | | 19,392 | 19,392 |
| 会議費 | | | | | | | 10,199 | 10,199 |
| 印刷製本費 | | | | | | | 602,618 | 602,618 |
| 光熱水料費 | | | | | | | 125,267 | 125,267 |
| 修繕費 | | | | | | | 151,947 | 151,947 |
| 医薬材料費 | | | | | | | 0 | 0 |
| 通信運搬費 | | | | | | | 411,605 | 411,605 |
| 広告宣伝費 | | | | | | | 0 | 0 |
| 支払手数料 | | | | | | | 129,622 | 129,622 |
| 保険料 | | | | | | | 308,160 | 308,160 |
| 委託費 | | | | | | | 494,840 | 494,840 |
| 賃借料 | | | | | | | 1,013,692 | 1,013,692 |
| 支払負担金 | | | | | | | 1,086,827 | 1,086,827 |
| 租税公課 | | | | | | | 54,800 | 54,800 |
| 退職給付費用 | | | | | | | 1,687,876 | 1,687,876 |
| 雑費 | | | | | | | 0 | 0 |
| 減価償却費 | | | | | | | 49,692 | 49,692 |
| 経常費用計(B) | 351,165,270 | 1,181,846,778 | 1,533,012,048 | 21,644,099 | 565,974,057 | 587,618,156 | 14,102,593 | 2,134,732,797 |
| 当期経常増減額(A)-(B) | △ 21,519,455 | 56,208 | △ 21,463,247 | 2,354,498 | 37,663,070 | 40,017,568 | 1 | 18,554,322 |
| 2 経常外増減の部 | | | | | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | | | | | |
| 経常外収益計(C) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | | | | | |
| ① 固定資産除去損 | 0 | 6 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 |
| 固定資産除却損 | 0 | 6 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 |
| 経常外費用計(D) | 0 | 6 | 6 | 0 | 0 | 0 | 1 | 7 |
| 当期経常外増減額(C)-(D) | 0 | △ 6 | △ 6 | 0 | 0 | 0 | △ 1 | △ 7 |
| 他会計振替額(E) | 9,027,449 | 9,027,449 | 18,054,898 | △ 877,244 | △ 17,177,654 | △ 18,054,898 | 0 | 0 |
| 当期一般正味財産増減額 | △ 12,492,006 | 9,083,651 | △ 3,408,355 | 1,477,254 | 20,485,416 | 21,962,670 | 0 | 18,554,315 |
| 一般正味財産期首残高 | 160,639,926 | 639,358,219 | 799,998,145 | 51,071,735 | 350,875,255 | 401,946,990 | 375,944 | 1,202,321,079 |
| 一般正味財産期末残高 | 148,147,920 | 648,441,870 | 796,589,790 | 52,548,989 | 371,360,671 | 423,909,660 | 375,944 | 1,220,875,394 |
| II 指定正味財産増減の部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ① 一般正味財産への振替額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 565,000,000 | 0 | 565,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 565,000,000 |
| 指定正味財産期末残高 | 565,000,000 | 0 | 565,000,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 565,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 713,147,920 | 648,441,870 | 1,361,589,790 | 52,548,989 | 371,360,671 | 423,909,660 | 375,944 | 1,785,875,394 |

貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| I 資産の部 | | | |
| 1 流動資産 | | | |
| 現金 | 41,885,202 | 45,761,542 | △ 3,876,340 |
| 預金 | 553,160,820 | 436,595,431 | 116,565,389 |
| 普通預金 | 553,160,820 | 402,337,672 | 150,823,148 |
| 定期預金 | 0 | 34,257,759 | △ 34,257,759 |
| 有価証券 | 0 | 0 | 0 |
| 前払費用 | 207,010 | 0 | 207,010 |
| 仮払金 | 6,577,706 | 21,370,532 | △ 14,792,826 |
| 未収金 | 69,166,984 | 44,998,062 | 24,168,922 |
| 貯蔵品 | 43,244,376 | 30,286,388 | 12,957,988 |
| 流動資産合計 | 714,242,098 | 579,011,955 | 135,230,143 |
| 2 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産等 | | | |
| 基本財産 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 茨城県債貸付 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 基金財産 | 0 | 0 | 0 |
| 有価証券 | 0 | 0 | 0 |
| 普通預金 | 0 | 0 | 0 |
| 基本財産等合計 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| 退職給付引当資産 | 521,364,334 | 516,342,066 | 5,022,268 |
| 助成事業積立資産 | 535,000,000 | 535,000,000 | 0 |
| 文化振興事業積立資産 | 58,340,191 | 58,338,497 | 1,694 |
| 施設設備修繕等積立資産 | 216,295,833 | 216,291,609 | 4,224 |
| 事業資金積立資産 | 213,420,027 | 213,416,227 | 3,800 |
| 緊急時対応積立資産 | 121,423,901 | 121,421,584 | 2,317 |
| 特定費用準備資金 | 42,890,376 | 55,465,008 | △ 12,574,632 |
| 文化活動助成事業資金 | 42,890,376 | 55,465,008 | △ 12,574,632 |
| 発電機修繕等準備資金 | 0 | 0 | 0 |
| 資産取得資金 | 128,771,392 | 128,768,901 | 2,491 |
| 減価償却資産取得資金 | 128,771,392 | 128,768,901 | 2,491 |
| 特定資産合計 | 1,837,506,054 | 1,845,043,892 | △ 7,537,838 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 建物 | 0 | 0 | 0 |
| 建物減価償却累計額 | 0 | 0 | 0 |
| 構築物 | 43,930,405 | 43,930,405 | 0 |
| 構築物減価償却累計額 | △ 38,198,424 | △ 37,245,892 | △ 952,532 |
| 車両運搬具 | 4,852,024 | 4,852,024 | 0 |
| 車両運搬具減価償却累計額 | △ 4,290,428 | △ 4,010,052 | △ 280,376 |
| 什器備品 | 178,277,170 | 177,032,825 | 1,244,345 |
| 什器備品減価償却累計額 | △ 157,021,184 | △ 149,507,204 | △ 7,513,980 |
| リース資産 | 40,361,760 | 40,361,760 | 0 |
| リース資産減価償却累計額 | △ 28,817,388 | △ 20,863,836 | △ 7,953,552 |
| 電話加入権 | 307,545 | 307,545 | 0 |
| 投資有価証券 | 50,000 | 50,000 | 0 |
| その他固定資産合計 | 39,451,480 | 54,907,575 | △ 15,456,095 |
| 固定資産合計 | 1,906,957,534 | 1,929,951,467 | △ 22,993,933 |
| 資産合計 | 2,621,199,632 | 2,508,963,422 | 112,236,210 |

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|---------------|---------------|---------------|----------------|
| II 負債の部 | | | |
| 1 流動負債 | | | |
| 未払金 | 268,673,595 | 170,902,744 | 97,770,851 |
| 仮受金 | 24,794,580 | 23,718,923 | 1,075,657 |
| 前受金 | 8,947,357 | 11,180,686 | △ 2,233,329 |
| 短期借入金 | 0 | 0 | 0 |
| 流動負債合計 | 302,415,532 | 205,802,353 | 96,613,179 |
| 2 固定負債 | | | |
| 長期借入金 | 0 | 0 | 0 |
| 退職給付引当金 | 521,364,334 | 516,342,066 | 5,022,268 |
| リース負債 | 11,544,372 | 19,497,924 | △ 7,953,552 |
| 仮受金 | 0 | 0 | 0 |
| 固定負債合計 | 532,908,706 | 535,839,990 | △ 2,931,284 |
| 負債合計 | 835,324,238 | 741,642,343 | 93,681,895 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1 指定正味財産 | 565,000,000 | 565,000,000 | 0 |
| (うち基本財産への充当額) | (30,000,000) | (30,000,000) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (535,000,000) | (535,000,000) | (0) |
| 2 一般正味財産 | 1,220,875,394 | 1,202,321,079 | 18,554,315 |
| (うち基本財産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| (うち特定資産への充当額) | (781,141,720) | (793,701,826) | (△ 12,560,106) |
| 正味財産合計 | 1,785,875,394 | 1,767,321,079 | 18,554,315 |
| 負債及び正味財産合計 | 2,621,199,632 | 2,508,963,422 | 112,236,210 |

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法について

有価証券は取得額をもって計上しているが、取得額が債券金額より低い価額又は高い価額の場合には、償却原価法（定額法）にて処理している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法について

棚卸資産の評価基準及び評価方法は、先入先出法による原価基準を採用している。

(3) 固定資産の減価償却について

① 固定資産の減価償却は、定率法によっている。

(会計方針の変更)

法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律平成19年3月30日法律第6号）及び（法人税法施行令の一部を改正する政令平成19年3月30日政令第83号））に伴い、平成19年4月1日以降に取得したのものについては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しているが、これに伴う影響は軽微である。

(追加情報)

法人税法の改正に伴い、平成19年3月31日以前に取得した資産については、その残存簿価を償却可能限度額に達した事業年度の翌事業年度以後5年間で備忘価額まで均等償却を行う方法によっているが、これに伴う影響は軽微である。

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 退職給付引当金の計上基準について

勸奨及び自己都合による退職金要支給額を計上する。（100%計上済み。）

(5) リース取引の会計処理について

① 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

車両運搬具、什器備品

② リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(ア) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

| | リース資産 |
|------------|------------|
| 取得価額相当額 | 40,361,760 |
| 減価償却累計額相当額 | 28,817,388 |
| 期末残高相当額 | 11,544,372 |

(イ) 未経過リース料期末残高相当額

| | 1年以内 | 1年超 | 合計 |
|---------|-----------|-----------|------------|
| 取得価額相当額 | 5,702,372 | 5,842,000 | 11,544,372 |

(ウ) 当期の支払リース料、減価償却費相当額

| | |
|----------|-----------|
| 支払リース料 | 7,953,552 |
| 減価償却費相当額 | 7,953,552 |

(エ) 減価償却費相当額の算定方法は、定額法によっている。

(6) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(1) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位：円

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|------------------|---------------|------------|------------|---------------|
| 基本財産 | | | | |
| 茨城県債貸付(金銭消費貸借契約) | 30,000,000 | 0 | 0 | 30,000,000 |
| 小 計 | 30,000,000 | 0 | 0 | 30,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 516,342,066 | 23,121,590 | 18,099,322 | 521,364,334 |
| 助成事業積立資産 | 535,000,000 | 0 | 0 | 535,000,000 |
| 文化振興事業積立資産 | 58,338,497 | 1,694 | 0 | 58,340,191 |
| 財団振興積立資産 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 施設設備修繕等積立資産 | 216,291,609 | 4,224 | 0 | 216,295,833 |
| 事業資金積立資産 | 213,416,227 | 3,800 | 0 | 213,420,027 |
| 緊急時対応積立資産 | 121,421,584 | 2,317 | 0 | 121,423,901 |
| 文化活動助成事業資金 | 55,465,008 | 4,278 | 12,578,910 | 42,890,376 |
| 発電機修繕等準備資金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 減価償却資産取得資金 | 128,768,901 | 2,491 | 0 | 128,771,392 |
| 小 計 | 1,845,043,892 | 23,140,394 | 30,678,232 | 1,837,506,054 |
| 合 計 | 1,875,043,892 | 23,140,394 | 30,678,232 | 1,867,506,054 |

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位：円

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対応する額) |
|------------------|---------------|------------------|------------------|---------------|
| 基本財産 | | | | |
| 茨城県債貸付(金銭消費貸借契約) | 30,000,000 | (30,000,000) | — | — |
| 小 計 | 30,000,000 | (30,000,000) | — | — |
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当資産 | 521,364,334 | — | — | (521,364,334) |
| 助成事業積立資産 | 535,000,000 | (535,000,000) | — | — |
| 文化振興事業積立資産 | 58,340,191 | — | (58,340,191) | — |
| 財団振興積立資産 | 0 | — | (0) | — |
| 施設設備修繕等積立資産 | 216,295,833 | — | (216,295,833) | — |
| 事業資金積立資産 | 213,420,027 | — | (213,420,027) | — |
| 緊急時対応積立資産 | 121,423,901 | — | (121,423,901) | — |
| 文化活動助成事業資金 | 42,890,376 | — | (42,890,376) | — |
| 減価償却資産取得資金 | 128,771,392 | — | (128,771,392) | — |
| 小 計 | 1,837,506,054 | (535,000,000) | (781,141,720) | (521,364,334) |
| 合 計 | 1,867,506,054 | (565,000,000) | (781,141,720) | (521,364,334) |

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

単位：円

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|-----------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| (建物付属設備) | (0) | (0) | (0) |
| 建物付属設備 | 0 | 0 | 0 |
| (構築物) | (43,930,405) | (38,198,424) | (5,731,981) |
| 構築物 | 43,930,405 | 38,198,424 | 5,731,981 |
| (車両運搬具) | (4,852,024) | (4,290,428) | (561,596) |
| 車両運搬具 | 4,852,024 | 4,290,428 | 561,596 |
| (器具・備品) | (178,277,170) | (157,021,184) | (21,255,986) |
| 器具・備品 | 178,277,170 | 157,021,184 | 21,255,986 |
| (電話加入権) | (307,545) | (0) | (307,545) |
| 電話加入権 | 307,545 | 0 | 307,545 |
| (リース資産) | (40,361,760) | (28,817,388) | (11,544,372) |
| リース資産 | 40,361,760 | 28,817,388 | 11,544,372 |
| (投資有価証券) | (50,000) | (0) | (50,000) |
| 投資有価証券 | 50,000 | 0 | 50,000 |
| 合 計 | 267,778,904 | 228,327,424 | 39,451,480 |

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

単位：円

| 科 目 | 帳簿価額 | 時 価 | 評価損益 | 備 考 |
|-------------|------------|------------|------------|-----|
| 有価証券 | (0) | (0) | (0) | |
| | 0 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 0 | 0 | 0 | |

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

単位：円

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|--------------|---------------------|-------|-------------|-------------|-------|-------------|
| 補助金 | | | | | | |
| 財団運営費補助金 | 茨城県 | 0 | 49,749,259 | 49,749,259 | 0 | 一般正味財産 |
| 県有施設支援金収益 | 茨城県 | 0 | 469,000 | 469,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 助成金収益 | 水戸市 | 0 | 200,000 | 200,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | 文化庁 | 0 | 15,173,450 | 15,173,450 | 0 | 一般正味財産 |
| | 茨城労働局 | 0 | 13,073,050 | 13,073,050 | 0 | 一般正味財産 |
| | 公益財団法人 常陽藝文センター | 0 | 600,000 | 600,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | ㈱茨城ポート オーソリティ | 0 | 300,000 | 300,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | 第一熱学建設(株) | 0 | 300,000 | 300,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | (株)常陽銀行 | 0 | 100,000 | 100,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | 茨城県信用組合 | 0 | 50,000 | 50,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | 増山英和 税理士事務所 | 0 | 300,000 | 300,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | (一財)茨城県 環境保全事業団 | 0 | 300,000 | 300,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | 独立行政法人 日本芸術文化振興会 | 0 | 265,000 | 265,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | (公財)茨城新聞 文化福祉事業団 | 0 | 300,000 | 300,000 | 0 | 一般正味財産 |
| | げんでんふれあい茨 城財団 | 0 | 1,300,000 | 1,300,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 水族館20周年事業補助金 | 茨城県 | 0 | 75,000,000 | 75,000,000 | 0 | 一般正味財産 |
| 合 計 | | 0 | 157,479,759 | 157,479,759 | 0 | 一般正味財産 |

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

単位：円

| 内 容 | 金 額 |
|---------------------------|-----|
| 経常収益への振替額 | |
| 文化活動助成事業資金取崩額分一般正味財産への振替額 | 0 |
| 合 計 | 0 |

8 引当金の明細

単位：円

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|-------------|-----------|-------|-----|-------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 516,342,066 | 5,022,268 | 0 | 0 | 521,364,334 |

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
基本財産及び特定財産の明細は、計算書類に対する注記2、基本財産及び特定資産の増減及びその残高に記載のとおりである。

- 2 引当金の明細
引当金の明細は、計算書類に対する注記8、引当金の明細に記載のとおりである。

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位:円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 | |
|-------------------------|-------------------------|----------------------------------|------------------------------------|---------------|
| (流動資産) | | | | |
| 現金 預金 | 手元保管 | 年度末売上金及び運転資金として | 41,885,202 | |
| | 普通預金 | | (553,160,820) | |
| | 常陽銀行県庁支店 | | 162,684,061 | |
| | 常陽銀行大洗支店 | | 390,474,509 | |
| | 住信SBIネット銀行法人第一支店 | | 1,500 | |
| | 茨城県信用組合千波支店 | | 750 | |
| | 前払費用 | 法人運営部門 | 近隣被災者対応費用保険料 他 | 207,010 |
| 仮払金 | 文化振興部門ほか 他 | 会計間の繰入支出戻入分及び指定管理人員費 戻入分 他 | 6,577,706 | |
| 未収金 | 事業に係る未収額 他 | 入場料収入、県委託金収入 他 | 69,166,984 | |
| 貯蔵品 | カフェ、売店商品 | 翌年度事業に供する貯蔵品 | 43,244,376 | |
| 流動資産合計 | | | 714,242,098 | |
| (固定資産) | | | | |
| 基本財産 | 基本財産 | 茨城県債貸付 | (30,000,000) | |
| 特定資産 | 退職給付引当資産 | 公益目的保有財産として保有し、運用益を 公益目的事業に使用 | 30,000,000 | |
| | | 職員に対する退職金の支給に備えるため | (1,837,506,054) | |
| | 助成事業積立資産 | 普通預金 | | (521,364,334) |
| | | 常陽銀行県庁支店 | | 4,970,710 |
| | | 住信SBIネット銀行法人第一支店 | | 250,866,632 |
| | | 水戸信用金庫本店 | | 67,903 |
| | | 定期預金 | | 172,000,000 |
| | | 水戸信用金庫本店 大和ネクスト銀行ビシャモン支店 | | 93,459,089 |
| | 文化振興事業積立資産 | 茨城県債貸付 | 公益目的保有財産として保有し、運用益を 文化活動助成事業に使用 | (535,000,000) |
| | | 普通預金 | 公1の公演事業等に使用 | 535,000,000 |
| | | 常陽銀行県庁支店 | | (58,340,191) |
| | | 茨城県信用組合千波支店 | | 8,319,178 |
| | | 三井住友銀行水戸支店 | | 8,405 |
| | | 定期預金 | | 12,608 |
| | 財団振興積立資産 | 茨城県信用組合千波支店 | | 20,000,000 |
| 三井住友銀行水戸支店 | | | 30,000,000 | |
| 施設設備修繕等積立資産 | 普通預金 | 公1の財団振興事業に使用 | (0) | |
| | 常陽銀行県庁支店 | | 0 | |
| | 普通預金 | 公2及び収2の水族館に係る施設設備の 修繕等に使用 | (216,295,833) | |
| 事業資金積立資産 | 常陽銀行県庁支店 | | 1,292,763 | |
| | 定期預金 | | 200,000,000 | |
| | 常陽銀行県庁支店 | | 15,003,070 | |
| | 茨城県信用組合千波支店 | | (213,420,027) | |
| | 普通預金 | 公2の水族館に係る展示替え等に使用 | 53,406,196 | |
| | 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 | 収1のセンター自主事業に係る整備等に活用す るための資金 | 13,831 | |
| 定期預金 | | 100,000,000 | | |
| 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 | | 60,000,000 | | |

| | | | | | |
|---------|------------------------|--|---|--|---------------|
| その他固定資産 | 緊急時対応積立資産 | 普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店 定期預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 筑波銀行泉町支店 | 公2の水族館に係る緊急時の事業継続等に使用 収1のセンター自主事業に係る事業継続等に使用 | (121,423,901) 1,410,396 8,000,275 13,230 0 2,000,000 110,000,000 | |
| | 特定費用準備資金 文化活動助成事業資金 | 普通預金 常陽銀行県庁支店 住信SBIネット銀行法人第一支店 定期預金 住信SBIネット銀行法人第一支店 | 文化活動助成事業に使用 | [42,890,376] (42,890,376) 96,877 828 42,792,671 | |
| | 資産取得資金 減価償却資産取得資金 | 普通預金 常陽銀行県庁支店 茨城県信用組合千波支店 定期預金 茨城県信用組合千波支店 | 法人運営に必要な固定資産の更新に使用 | [128,771,392] 2,536,899 9,221 126,225,272 | |
| | 構築物 | 水戸市千波町東久保697 他 駐車場案内表示板 他 ホールディングプール下倉庫 他 | 公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している | (39,451,480) 5,731,981 | |
| | 車両運搬具 | 大洗町磯浜町8252-3 アクセラ、フォークリフト 他 | 公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している | 561,596 | |
| | 什器備品 | 水戸市千波町東久保697 他 金庫、勤怠管理システム 他 料金所エアコン 他 セミクジラ骨格標本 他 | 公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している | 21,255,986 | |
| | リース資産 | 水戸市千波町東久保697 他 会場予約管理システム、4tトラック 他 | 公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している | 11,544,372 | |
| | 電話加入権 | 水戸市千波町東久保697 | 公益目的事業の用に供している | 307,545 | |
| | 投資有価証券 | 茨城県信用組合千波支店 | 茨城県信用組合への出資 | 50,000 | |
| | 固定資産合計 | | | | 1,906,957,534 |
| | 資産合計 | | | | 2,621,199,632 |
| | (流動負債) | 未払金 | 事業に係る未払額 他 | 文化活動団体への助成金未払い 退職金、電気料 他 | 268,673,595 |
| | | 仮受金 | 事業に係る仮受額 他 | 共催公演入場料仮受 他 | 24,794,580 |
| | 前受金 | 事業に係る前受額 他 | 利用料金前受 | 8,947,357 | |
| 流動負債合計 | | | | 302,415,532 | |
| (固定負債) | 退職給付引当金 | 職員に対するもの | 職員に対する退職金の支給に備えたもの | 521,364,334 | |
| | リース債務 | 水戸市千波町東久保697 他 会場予約管理システム 他 | 公益目的事業の用に供している他、公益目的事業に必要な収益事業の用に供している | 11,544,372 | |
| 固定負債合計 | | | | 532,908,706 | |
| 負債合計 | | | | 835,324,238 | |
| 正味財産 | | | | 1,785,875,394 | |